

産業建設委員会

令和6年5月17日(金)
午前10時～時分
全員協議会室

【委員】川上委員長、田畑副委員長
村木委員、大谷委員、小川委員、佐々木委員、牛尾委員

【議長・委員外議員】

【執行部】

(産業経済部) 佐々木産業経済部長、久佐産業経済部参事、大屋商工労働課長、
大谷産業振興課長(広島事務所長)、佐々木ふるさと寄附推進室長、
佐々木農林振興課長、永見水産振興課長

(都市建設部) 倉本都市建設部長、中谷建設企画課長

(金城支所) 市原金城支所長、河内産業建設課長

(三隅支所) 西谷三隅支所長、斎藤産業建設課長

【事務局】大下書記

【議題】

1 執行部報告事項

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| (1) 令和7年度国県重点要望事項について | 【該当課】 |
| (2) 令和5年度萩・石見空港の状況について | 【商工労働課】 |
| (3) 第4弾プレミアム付「はまだ応援チケット」の販売について | 【商工労働課】 |
| (4) 令和5年度はまだ産業振興機構活動実績について | 【産業振興課】 |
| (5) 浜田港の概況について | 【産業振興課】 |
| (6) 令和5年度ふるさと寄附の実績について | 【ふるさと寄附推進室】 |
| (7) 令和5年度広島事務所活動実績について | 【広島事務所】 |
| (8) 令和5年農業産出額について | 【農林振興課】 |
| (9) その他
(配布物)
・漁業別水揚げについて | 【水産振興課】 |

2 所管事務調査

- | | |
|--------------------------------|-------------|
| (1) 山陰浜田港公設市場の財務状況について | 【水産振興課】 |
| (2) かなぎウエスタンライディングパークの財務状況について | 【金城支所産業建設課】 |
| (3) リフレパークきんたの里の財務状況について | 【金城支所産業建設課】 |
| (4) 浜田市三隅特産品展示販売センターの財務状況について | 【三隅支所産業建設課】 |

3 その他

4 視察報告書について(委員間で協議)

令和7年度国県重点要望事項 総括表(県知事要望分)

部	No.	要望項目
総務部	1	浜田港への海上自衛隊艦艇の物資補給基地誘致に向けた支援について
	2	浜田港の利活用促進の一環としての浜田海上保安部の機能強化について
	3	米軍機による低空飛行訓練の中止について
健康福祉部	4	医師・看護師等医療従事者確保対策について
産業経済部 都市建設部	5	重要港湾浜田港について
都市建設部	6	高規格道路の整備促進について
	7	矢原川ダムの事業推進について
教育部	8	島根県立高等学校の寄宿舎整備について【新規】
合計		県知事要望 8件

総括表(部長以下要望分)

部	No.	要 望 項 目	備 考 (知事要望の有無)
総務部	9	浜田港への海上自衛隊艦艇の物資補給基地誘致に向けた支援について	○
	10	浜田港の利活用促進の一環としての浜田海上保安部の機能強化について	○
	11	米軍機による低空飛行訓練の中止について	○
地域政策部	12	地域公共交通の確保に対する支援について	
健康福祉部	13	医師・看護師等医療従事者確保対策について	○
	14	浜田医療センター支援について【新規】	
		(1) 浜田医療センターに対する特別交付税措置について (2) 浜田医療センターに対する医療提供体制推進事業費補助金の交付について	
都市建設部 ※一部産業経済部	15	重要港湾浜田港について	○
		(1) 岸壁整備等港湾機能の強化について	○
		(2) 荷役業務の安全確保について	○
		(3) 貿易振興に対する支援について	○
		①浜田港国際定期コンテナ航路の維持について	○
		②浜田港振興会の運営支援について	
		③大型基幹貨物を取り扱う企業の誘致の推進について	
		(4) 浜田港の曳船(タグボート)の確保について (5) 浜田港港湾施設の使用料減免の拡充と継続について	
都市建設部	16	高規格道路の整備促進について	○
		(1) 浜田自動車道4車線化の事業推進について	○
		(2) 三隅益田道路の事業推進について	○
	17	矢原川ダムの事業推進について	○
	18	本庁・支所間を20分で連絡する道路整備について	
(1) 主要地方道弥栄旭インター線(小坂Ⅲ工区)			
【継続事業分】			
(1) 林道 ①林道金城弥栄線			

部	No.	要 望 項 目	備 考 (知事要望の有無)
都市建設部	19	まちづくりを支援する県道の幹線道路ネットワークの早期完成と生活関連道路の整備について	
		(1) 主要地方道浜田八重可部線の改良について	
		(2) 主要地方道田所国府線の改良について	
		①本郷工区(浜田作木線交差点～木田境)	
		②戸川工区(新戸川橋～栃谷橋)	
		(3) 主要地方道浜田美都線の改良について	
		【継続事業分】	
		(1) 主要地方道	
		①主要地方道田所国府線 入野工区、上府工区	
		②主要地方道浜田八重可部線 後野工区、今市2工区、都川2工区、今福工区	
		③主要地方道浜田美都線 木都賀工区	
		④主要地方道桜江金城線 追原C工区	
		⑤主要地方道三隅美都線 河内工区	
	20	地域を支える道路網の整備について	
		(1) 一般国道186号(上来原～波佐地内)の路肩拡幅整備について	
		(2) 一般県道今福芸北線(久佐～小国)の改良について	
		(3) 一般県道一の瀬折居線(周布地～櫛田原)の改良について	
		(4) 一般県道浜田商港線(起点側～青川バス停)の交差点改良について	
		【継続事業分】	
		(1) 一般国道186号	
		①小国2工区(新犬戻りトンネル)	
		(2) 県営農道整備事業(農村地域防災減災事業)	
		①新開佐野地区(緊急避難路整備)	
		②横山地区(緊急避難路整備)	
		(3) 一般県道等	
		①一般県道黒沢安城浜田線 長見工区	
		②一般県道三隅井野長浜線 三隅工区、井野工区	
		③一般県道美川周布線 穂出工区	
		④一般県道波佐芸北線 波佐工区	
		⑤一般県道益田種三隅線 西河内工区	
		⑥一般県道一の瀬折居線 室谷工区	

部	No.	要望項目	備考 (知事要望の有無)
都市建設部	21	周布川の防災対策について	
		【継続事業分】	
		(1) 周布川の堤防嵩上げについて	
	22	安全で安心して暮らせる県土を創る治水対策の推進について	
		【継続事業分】	
		(1) 周布川	
		①河口周辺	
		②その他	
		(2) 下府川	
		(3) 唐鐘川	
		(4) 久代川	
		(5) 三隅川	
	(6) 小国川		
	23	県民の生命や財産を守る砂防事業等の推進について	
		【継続事業分】	
		(1) 急傾斜地崩壊対策事業について	
		①高佐町A地区	
		②黒川地区	
		(2) 砂防事業について	
		①本郷川	
		②治和川	
③西旗竿谷川			
④外ノ浦谷川			
(3) 地すべり対策事業について			
①高野地区地すべり対策事業			
②浜田第四期地区地すべり対策事業			
24	海岸保全事業の促進について		
	【継続事業分】		
	三隅港海岸（湊浦地区）		
教育部	25	島根県立高等学校の寄宿舎整備について【新規】	○
	26	学校ICT機器更新等に係る財政支援について	
合計		部長以下要望18件（知事要望8件を含む）	

令和 7 年度国県重点要望事項

1 浜田港への海上自衛隊艦艇の物資補給基地誘致に向けた支援について

【要望先：防災部】

浜田港につきましては、国指定の重要港湾として整備され、官民一体となって利用促進に取り組んでいるところです。

日頃の海上自衛隊艦艇の公開や災害時における隊員の迅速かつ献身的な救助活動により、自衛隊に対する信頼感が高まってきており、海上自衛隊艦艇の浜田港寄港は、市民にとって大きな安心につながるものと思っております。また、地元経済にとりましても、海上自衛隊艦艇の物資の補給など、非常に大きな効果があるものと考えております。

つきましては、海上自衛隊艦艇の物資補給基地の誘致に向けてご支援を賜りますよう格別のご高配をお願いします。

2 浜田港の利活用促進の一環としての浜田海上保安部の機能強化について

【要望先：防災部】

島根県におかれましては、重要港湾浜田港の整備に取り組んでいただき、深く感謝申し上げます。浜田市としましても、官民一体となって利活用促進に取り組んでいるところです。

浜田港には、現在、海上保安庁の浜田海上保安部が設置され、1,000t 型巡視船などが配備されております。

海上保安庁におきましては、海上保安体制の強化を掲げておられ、今後、日本海側の海上監視体制の強化にも取り組まれる予定であります。

つきましては、浜田港のさらなる利活用促進のため、是非とも、巡視船等の増強など、浜田海上保安部の機能強化に向けてご支援を賜りますよう格別のご高配をお願いします。

3 米軍機による低空飛行訓練の中止について

【要望先：防災部】

知事におかれましては、米軍機の低空飛行訓練による騒音問題につきまして、米軍機騒音等対策協議会とともに外務省、防衛省に要望活動を行っていただき、深く感謝を申し上げます。

しかしながら、米軍機の低空飛行訓練による住民への耐え難い騒音被害は引き続き発生しており、事故への不安に悩まされるなど、日常生活に様々な悪影響を与え続けています。

さらに、昨年 12 月には、浜田市上空で米軍機による空中給油が行われたとみられる報道があり、住民の安全安心は益々脅かされる状況にあります。

この現状に鑑み、低空飛行及び空中給油訓練が行われないう、米軍関係当局に対し、更なる強力な対応をしてもらうよう、国への働きかけをお願いします。

また、騒音被害が解消されるまでの間、国が責任を持って騒音や安全性に対する住民の不安を軽減するための措置をとることについても、引き続き働きかけをお願いします。

4 医師・看護師等医療従事者確保対策について

【要望先：健康福祉部】

医師をはじめとする医療従事者につきまして、奨学金制度や島根大学との連携、しまね地域医療支援センターのキャリア支援など、様々な取組を行っていただいております。深く感謝を申し上げます。

浜田圏域の医師の充足率においても、令和4年の83.8%から令和5年には85.2%へと増進をしております。

しかしながら、本市では、依然として中核病院における診療科の偏在が顕著であり、常勤医のいない診療科もあり、住民の不安は払拭されておられません。加えて、地域の医療を支える開業医の高齢化も進み、身近な医療機関の減少が危惧されております。

浜田医療センター附属看護学校については、国立病院機構本部の意向により運営の見直しが検討されており、本市としては、看護学校に通う学生に対する奨学金制度の創設や附属看護学校存続のための支援を島根県と協調で行い、学生の確保に努めているところであります。

地域の特性を踏まえた医師確保計画が着実に実行されることをお願いするとともに、医療従事者の確保や診療科の偏在の解消につきまして、引き続きご支援を賜りますよう格別のご高配をお願いいたします。

5 重要港湾浜田港について

【要望先：土木部（一部商工労働部）】

日本海側拠点港の浜田港は、県内唯一の国際貿易港として重要な役割を担っております。更なる物流機能の向上に格別のご高配をお願いいたします。

(1) 岸壁整備等港湾機能の強化について

浜田港の岸壁は、近年の急速なコンテナ船の大型化に対応できていない状況となっており、コンテナ船社からは1,000TEU積みコンテナ船の寄港を可能とする施設整備が求められています。

つきましては、船舶大型化に対応するため、できるだけ早期に岸壁整備等港湾機能の強化を促進していただきますようお願いいたします。

(2) 荷役業務の安全確保について

新北防波堤の整備促進について、引き続きのご支援をお願いいたします。

(3) 貿易振興に対する支援について **【要望先：商工労働部】**

浜田港は島根県内唯一の国際貿易港であり、平成13年3月に国際定期コンテナ航路が開設されたことにより、石見地域はもとより、島根県の経済活性化に大きく貢献しているものと認識しております。しかしながら、新型コロナウイルス禍に端を発した物流網の混乱は、回復傾向にあるものの、円安や燃油高騰、紛争による供給網混乱など様々な影響が現れており、特に地方港にとって苦しい環境が継続しております。

今後、浜田港の国際定期コンテナ航路の信頼回復と取扱貨物の確保に向けた取組を進めることが急務になっており、地域経済を支える物流拠点として、更なるご支援をよろしくお願いいたします。

6 高規格道路の整備促進について

【要望先：土木部】

島根県におかれましては、浜田自動車道の4車線化及び三隅益田道路の事業推進に多大なるご支援をいただき感謝申し上げます。

(1) 浜田自動車道4車線化の事業推進について

令和4年度から事業化となった浜田自動車道（大朝IC～旭IC間）の一部区間につきまして、事業推進に格別のご高配をお願いいたします。

また、優先整備区間に選定されている他区間につきましても、円滑な移動や大雪時の確実な通行を確保するため、早期事業採択に向けて引き続きご支援いただきますようお願いいたします。

(2) 三隅益田道路の事業推進について

三隅益田道路につきまして、浜田益田間の移動時間短縮と物流の効率化を実現するため、事業推進に格別のご高配をお願いします。

7 矢原川ダムの事業推進について

【要望先：土木部】

矢原川ダム事業につきましては、現在付替え道路の整備工事やダムサイトの地質調査等が進められており、防災安全のためにも地元住民が大きな期待を寄せています。引き続き、早期完成に向けて格別のご高配をお願いします。

8 島根県立高等学校の寄宿舎整備について【新規】

【要望先：教育庁】

浜田市には、島根県立浜田高等学校（以下「浜田高校」という。）、浜田商業高等学校及び浜田水産高等学校の3校が設置されています。

現在、この3校では、少子化等の影響で定員確保に苦慮する状況が続いており、このままでは学級数の減少や学校統合が進み、地域の教育力が低下することを危惧しています。

こうした状況を踏まえ、本市では、市外・県外生や学校から遠方で通学できない生徒の住まいの確保のため、県立高校3校の男子共同下宿を令和6年度から当面5年間の計画で運営します。

これはあくまでも緊急的な措置であり、寄宿舎がない浜田商業高等学校及び、女子寮がない浜田水産高等学校において、寄宿舎整備は喫緊の課題ではありますが、それぞれ単独の寄宿舎を整備することは難しいことも理解しております。

一方で、浜田高校の寄宿舎は、男子用、女子用とも築約50年経過して老朽化が進み、遠からず建替えが必要となるものと推察されます。

浜田高校においても、入学者が定員を大きく割っており、地元生徒の入学者増の努力も当然のことながら、県外枠の拡大なども併せて実施し、入学者の増を図る必要があると考えます。

つきましては、浜田高校のそれぞれの寄宿舎の建替え等の検討に際し、市内3校の共同寄宿舎として整備することを検討していただきますよう格別のご高配をお願いいたします。

《以上県知事要望分》

《ここから部長以下要望分》

9 浜田港への海上自衛隊艦艇の物資補給基地誘致に向けた支援について

【要望先：防災部】

※知事要望に同じ

10 浜田港の利活用促進の一環としての浜田海上保安部の機能強化について

【要望先：防災部】

※知事要望に同じ

11 米軍機による低空飛行訓練の中止について

【要望先：防災部】

※知事要望に同じ

12 地域公共交通の確保に対する支援について

【要望先：地域振興部】

地域公共交通は、利用者の減少や乗務員不足に加え、燃料費や物価高騰などにより大変厳しい状況が続いておりますが、自身で移動手段を持たない市民の通院・通学や買物などの日常生活において欠かせない移動手段であり、将来にわたって維持・確保することがこれまで以上に重要になっております。

こうした中、島根県におかれましては、令和4年度に生活交通ネットワーク総合支援事業の見直しを実施され、民間バス事業者に対する「島根県地域間準幹線系統確保維持費補助金」においては、1日当たりの輸送量を補助要件に追加するとともに、補助対象経費限度額を設定されました。

市町村に対する「島根県生活交通確保対策交付金(以下「交付金」という。)」により、減額分補填は一部されるものの、交付金では地域キロ当たり標準経常費用を上限とすることや補助対象経費限度額が設定されたことから、市町村における財政的負担は増加しており、今後ますます増大することが懸念されます。

利便性・効率性を確保しながらも、持続可能な地域公共交通を構築するためには、市民、民間交通事業者、行政が一体となって取り組む必要があることから、生活交通ネットワーク総合支援事業の見直しを行っていただくとともに、同事業の予算総額の拡充をお願いいたします。

13 医師・看護師等医療従事者確保対策について

【要望先：健康福祉部】

※知事要望に同じ

14 浜田医療センター支援について【新規】

【要望先：健康福祉部】

日ごろからの浜田医療センターをはじめとする浜田市の医療機関への支援につきまして、深く感謝を申し上げます。

さて、浜田医療センターにおかれましては、浜田圏域の中核病院として必要な医療の提供を継続していくための経営改善等を積極的に実施しておられますが、昨今の人口減少などの影響もあり、厳しい経営が続いております。

つきましては、当センターが今後も地域の中核病院としての機能を維持できるよう、格別のご高配をお願いいたします。

(1) 浜田医療センターに対する特別交付税措置について

浜田市から十分な支援をするための財源の確保について、地方公共団体が公的病院等に助成を行った場合に措置される特別交付税の対象に浜田医療センターの属する独立行政法人国立病院機構も加えていただけるよう浜田市と共に国に働きかけをお願いします。

(2) 浜田医療センターに対する医療提供体制推進事業費補助金の交付について

浜田医療センターの三次救急医療体制を維持するためにも、国の医療提供体制推進事業費補助金（救急救命センター運営事業）の県負担分の財源を確保し、当センターへの交付をお願いします。

15 重要港湾浜田港について

【要望先：土木部（一部商工労働部）】

日本海側拠点港の浜田港は、県内唯一の国際貿易港として重要な役割を担っております。更なる物流機能の向上に格別のご高配をお願いします。

(1) 岸壁整備等港湾機能の強化について

※知事要望に同じ

(2) 荷役業務の安全確保について

※知事要望に同じ

(3) 貿易振興に対する支援について 【要望先：商工労働部】

島根県内唯一の国際貿易港である浜田港の利用促進のため、次の点につきまして、ご支援賜りますよう格別のご高配をお願いします。

① 浜田港国際定期コンテナ航路の維持について

浜田港は島根県内唯一の国際貿易港であり、平成13年3月に国際定期コンテナ航路が開設されたことにより、石見地域はもとより、島根県の経済活性化に大きく貢献しているものと認識しております。更に、働き方改革による2024年問題とモーダルシフト、カーボンニュートラルの実現など多くの課題が山積する中、浜田港は物流問題解決に向け重要な役割を果たすものと期待しています。

しかしながら、新型コロナウイルス禍に端を発した物流網の混乱は、回復傾向にあるものの、円安や燃油高騰、紛争による供給網混乱など様々な影響が現れており、特に地方港にとって苦しい環境が継続しております。

今後、浜田港の国際定期コンテナ航路の信頼回復と取扱貨物の確保に向けた取組を進めることが急務になっており、地域経済を支える物流拠点として、更なるご支援をよろしくをお願いします。

② 浜田港振興会の運営支援について

事業者のニーズを踏まえた集荷対策には、効果的なポートセールス体制の整備を行い、航路の維持及び安定運航を確保することが必要です。また、浜田港港湾計画の実現には、取扱貨物量の増加に向けた取組が不可欠であり、その中心となる浜田港振興会の活動は重要性を増しています。

さらに、コロナ禍により途絶えてしまったクルーズ客船について、寄港再開に向けた誘致活動には、石見圏域の関係者と一緒になって、重点的に取り組む必要があります。

つきましては、浜田港振興会の役割にご理解をいただき、引き続き運営に対する人的・財政的ご支援をお願いします。

③ 大型基幹貨物を取り扱う企業の誘致の推進について

平成29年に改訂された浜田港港湾計画では、長浜地区、福井地区の新規岸壁の造成等が示されています。この計画の実現により、大型船の入港が可能となり、国際定期コンテナ航路の週復便化など荷主に対する利便性を向上するため、より多くの貨物の取扱いが必要となります。

つきましては、県西部地域において、大型基幹貨物（ベースカーゴ）を取り扱っていただける企業の誘致を推進していただきますようお願いいたします。

(4) 浜田港の曳船（タグボート）の確保について【要望先：商工労働部、土木部】

近年、船舶の大型化が進み、大型貨物船やクルーズ船が接岸する際、基本的に2隻の曳船を必要としますが、現在の浜田港は1隻のみのため、三隅港を中心に応援を要請し対応されているところです。

令和4年の中国電力株式会社三隅火力発電所2号機の稼働に伴い、今まで以上に他港からの応援の要請が求められており、引き続き、曳船の確保と回航費の補助について実情に応じた支援をお願いいたします。

(5) 浜田港港湾施設の使用料減免の拡充と継続について

浜田港の港湾施設使用料は、利用促進のため各種減免措置を講じていただいておりますが、原木等の国内移出入貨物については従来どおりの使用料であり、県外他港と比較し高い状況です。輸出入と同様に国内移出入貨物の使用料についても減免をご検討いただきますようお願いいたします。

また、浜田港福井第2上屋や更新整備されますリーチスタッカーについても既存減免の継続をいただきますようお願いいたします。

県外他港との競争力を高め、取扱貨物量の増加と港の利用促進を図るため、更なるご配慮を賜りますようお願いいたします。

16 高規格道路の整備促進について

【要望先：土木部】

※知事要望に同じ

17 矢原川ダムの事業推進について

【要望先：土木部】

※知事要望に同じ

18 本庁・支所間を20分で連絡する道路整備について

【要望先：土木部】

島根県におかれましては、国道、主要地方道及び一般県道等の幹線道路整備を継続的に実施していただき厚くお礼を申し上げます。

地域間交流の活性化を図るため、次の区間の整備について、格別のご高配をお願いいたします。

(1) 主要地方道弥栄旭インター線（小坂Ⅲ工区）【弥栄】

高内～弥栄大橋間について、トンネルによる計画策定をお願いします。

【継続事業分】

次の区間について事業の促進をお願いします。

(1) 林道

①林道金城弥栄線【金城・弥栄】

19 まちづくりを支援する県道の幹線道路ネットワークの早期完成と生活関連道路の整備について

【要望先：土木部】

幹線道路は、市民生活や経済活動を営む上で重要な役割を担う道路です。農林道と連結した幹線道路ネットワークの早期完成と生活関連道路の効率的な整備について、格別のご高配をお願いします。

(1) 主要地方道浜田八重可部線の改良について【旭】

岩畳工区の完了に伴い、赤谷工区（畑喰谷工区から改良済区間まで約 1 km）の改良整備について、事業化の検討をお願いします。

(2) 主要地方道田所国府線の改良について

次の区間の改良整備について、事業化の検討をお願いします。

①本郷工区（浜田作木線交差点～木田境）【旭】

②戸川工区（新戸川橋～栃谷橋）【旭】

幅員が狭く離合できないため、早期事業化をお願いします。

(3) 主要地方道浜田美都線の改良について【弥栄】

木都賀地内から市境までの改良整備について、格別のご高配をお願いします。

【継続事業分】

次の区間について事業の促進をお願いします。

(1) 主要地方道

①主要地方道田所国府線

・入野工区【金城】

・上府工区（吉原橋付近～府城センター付近）【浜田】

②主要地方道浜田八重可部線

・後野工区（佐野～国道 186 号）【浜田】

・今市 2 工区（丸原地区～今市地区）【旭】

当該区間は、過去死亡事故が発生した箇所であり、地域住民も安全安心な道路整備を要望しており、早期完成をお願いします。

・都川 2 工区【旭】

・今福工区（久佐川橋付近）【金城】

③主要地方道浜田美都線 木都賀工区【弥栄】

④主要地方道桜江金城線 追原 C 工区【金城】

⑤主要地方道三隅美都線 河内工区【三隅】

20 地域を支える道路網の整備について

【要望先：土木部】

安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に向けた道路網整備について、格別のご高配をお願いします。

(1) 一般国道 186 号（上来原～波佐地内）の路肩拡幅整備について【金城】

当区間は路肩幅員が狭いため、降雪時に大型車両同士の離合に注意を要する場面が多く発生します。また、道路側溝が路面よりも低い位置にあるため、車両の脱輪や路外逸脱の危険性が高い箇所でもあります。安全通行のための改善策として、上来原工区に引き続き、広島方面にむけ市道取付までの約 350mにつきまして、歩道を整備していただきますようお願いいたします。

(2) 一般県道今福芸北線（久佐～小国）の改良について【金城】

本路線は小国地区の生活道路であり、今福地区と小国地区を結ぶ幹線道路です。幅員狭小区間と落石危険箇所が多く通行に支障があるため、局部改良も踏まえた対応について検討をお願いします。

(3) 一般県道一の瀬折居線（周布地～櫛田原）の改良について【三隅】

当区間は、狭小で交通難所となっているため、この区間のトンネルによる整備について検討をお願いします。

(4) 一般県道浜田商港線（起点側～青川バス停）の交差点改良について【浜田】

本路線の起点側交差点部分（国道9号合流部）は、それまでの2車線から1車線へ幅員が狭くなっているため、車両の離合が困難な状況となっています。特に大型車が通行する際は、対向車が交差点に進入できず、交通の流れが阻害される場面が多発しています。つきましては、交差点の改良に向けた検討をお願いします。

【継続事業分】

次の区間について事業の促進をお願いします。

(1) 一般国道186号

- ①小国2工区（新犬戻りトンネル）【金城】
- (2) 県営農道整備事業（農村地域防災減災事業）
 - ①新開佐野地区（緊急避難路整備）【浜田・金城】
 - ②横山地区（緊急避難路整備）【浜田】

(3) 一般県道等

- ①一般県道黒沢安城浜田線 長見工区（名古田橋～新福永橋）【浜田】
- ②一般県道三隅井野長浜線
 - ・三隅工区（三隅美都線～三隅神社～浄蓮寺峠）【三隅】
 - ・井野工区（下今明～小原）【三隅】
- ③一般県道美川周布線 穂出工区【浜田】
- ④一般県道波佐芸北線 波佐工区【金城】
- ⑤一般県道益田種三隅線 西河内工区【三隅】
- ⑥一般県道一の瀬折居線 室谷工区【三隅】

21 周布川の防災対策について

【要望先：土木部】

水害から住民の生命財産を守り、安全で安心して暮らせるまちづくりのためには、ハード整備とソフト対策の両面から総合的な治水対策を進めることが重要です。

周布川流域では、近年、氾濫危険水位を超過する事態が頻発していることから、流域住民の安全・安心のための治水対策の推進に格別のご高配をお願いします。

【継続事業分】

(1) 周布川の堤防嵩上げについて【浜田】

周布川においては、一部で堤防の低い箇所が存在しており、近隣の住民からは不安の声が上がっています。沿川住民の不安を解消するため、堤防が低い箇所における部分的な嵩上げ等の事業の促進をお願いします。

22 安全で安心して暮らせる県土を創る治水対策の推進について

【要望先：土木部】

【継続事業分】

河口堆積土砂等の浚渫について適時適切な実施をお願いします。

(1) 周布川【浜田】

①河口周辺

冬場の波浪による、導流堤から右岸側への堆砂を原因として、係留施設への出入りの障害や水位上昇に伴う小河川の氾濫が発生するため、定期的な浚渫による河口閉塞の解消をお願いします。

②その他

近年、氾濫注意水位を超過することがあります。地域住民の安全・安心の確保のため、引き続き河川内の樹木伐採や河道掘削を進めていただくようお願いします。

(2) 下府川【浜田】

掘込河道で計画された下府川下流部は、海浜部からの流砂により河口埋塞の恐れがあります。定期的な浚渫をお願いします。

(3) 唐鐘川【浜田】

波浪により河口が閉塞し流水停滞が発生するため、定期的な浚渫をお願いします。

(4) 久代川【浜田】

久代川の河口法線（海浜部）は大きく東側へ蛇行している上に、流砂による埋塞のため、豪雨時には排水不良による床下浸水が発生しています。定期的な浚渫による河積断面の確保をお願いします。

(5) 三隅川【三隅】

三隅川河口部は、波浪による海浜部からの流砂により河口閉塞の恐れがあります。定期的な浚渫による河積断面の確保をお願いします。

(6) 小国川【金城】

令和5年度に谷口橋整備事業に着手し、令和6年度から用地調査及び用地買収を進めています。事業実施において、小国川の護岸嵩上げや弥栄旭インター線の線形修正が必要となりますので、事業の完成に向け、引き続きご協力いただきますようお願いいたします。

23 県民の生命や財産を守る砂防事業等の推進について

【要望先：土木部】

浜田市は、海・山の豊かな自然環境に恵まれている反面、市域の大部分が山地であり、住家の多くが山際や谷あいの狭い平地に密集しているため、土砂災害危険箇所が多く点在しています。

住環境の安全と県民の生命、財産を守る砂防事業及び急傾斜地崩壊対策事業の促進をお願いします。

【継続事業分】

引き続き事業の促進をお願いします。

(1) 急傾斜地崩壊対策事業について【浜田】

①高佐町 A 地区

②黒川地区

(2) 砂防事業について【浜田・旭・三隅】

- ①本郷川
- ②治和川
- ③西旗竿谷川
- ④外ノ浦谷川

(3) 地すべり対策事業について【浜田・三隅・弥栄】

- ①高野地区地すべり対策事業
- ②浜田第四期地区地すべり対策事業

24 海岸保全事業の促進について

【要望先：土木部】

島根県におかれましては、継続的に海岸保全事業を実施していただき感謝申し上げます。

【継続事業分】

引き続き事業の推進をお願いします。

三隅港海岸（湊浦地区）

25 島根県立高等学校の寄宿舎整備について【新規】

【要望先：教育庁】

※知事要望に同じ

26 学校 ICT 機器更新等に係る財政支援について

【要望先：教育庁】

文部科学省が示す「GIGA スクール構想」の推進に伴い整備した端末について、公立学校情報機器整備事業費補助金により端末の更新を計画的に行うことができるようになったところ。

しかし、端末と同時期に整備したネットワーク環境や大型提示装置については補助事業がなく、今後控えた更新に係る費用の財源確保に苦慮しております。

つきましては、整備した環境を維持し児童生徒の学びが確保できるよう、周辺機器の更新等に対する財政支援について、国への働きかけのご支援を賜りますよう格別のご高配をお願いいたします。

令和5年度 萩・石見空港の状況について

令和6年5月17日
産業建設委員会資料
産業経済部商工労働課

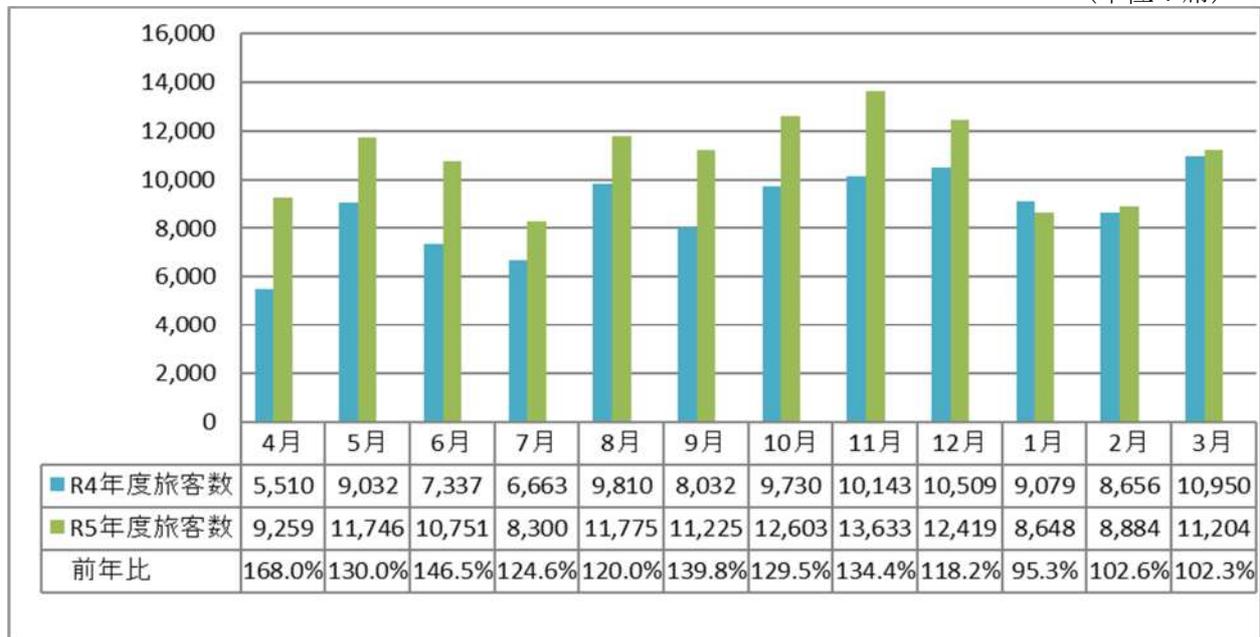
1 令和5年度萩・石見空港の利用実績について

令和5年度の利用実績は130,447席で、令和4年度105,451席に対して123.7%、コロナ禍以前と比較して92.7%と回復基調にあります。

(単位：席)

	R5年度	R4年度	前年比	R元年度	R元年比
第1四半期(4月-6月)	31,756	21,879	145.1%	34,736	91.4%
第2四半期(7月-9月)	31,300	24,505	127.7%	41,830	74.5%
第3四半期(10月-12月)	38,655	30,382	127.2%	38,394	100.7%
第4四半期(1月-3月)	28,736	28,685	100.2%	25,729	111.7%
合計	130,447	105,451	123.7%	140,689	92.7%

(単位：席)



2 令和5年度浜田市萩・石見空港利用促進補助金の実績について

令和5年度の補助金については、7,283席の実績となり、令和4年度の4,810席からは151.4%の増であり、大幅な回復となりましたが、コロナ禍以前の補助金利用実績(令和元年度9,265席)と比較すると、78.6%であり、まだ低い水準となっています。

R5実績			R4実績			前年比	
区分	席数	金額(千円)	区分	席数	金額(千円)	席数	金額(千円)
2人以下	4,697	7,035	2人以下	3,290	4,935	142.8%	142.6%
3人以上	1,533	3,819	3人以上	833	2,078	184.0%	183.8%
学生	436	891	学生	278	547	156.8%	162.9%
移住・応援団	39	59	移住・応援団	21	33	185.7%	178.8%
修学旅行	294	882	修学旅行	230	690	127.8%	127.8%
前年度分	284	497	前年度分	158	336	179.7%	147.9%
合計	7,283	13,183	合計	4,810	8,619	151.4%	153.0%

3 東京（羽田）路線 2 便運航のための運航支援金について

国土交通省が行う羽田発着枠政策コンテストにおいて、令和 7 年 3 月 29 日までの萩・石見—東京（羽田）路線の 2 往復運航の継続が令和 5 年 4 月に決定されました。令和 6 年 3 月 29 日には、2 往復運航を前提として島根県、全日本空輸株式会社、萩・石見空港利用拡大促進協議会の 3 者による「萩・石見空港東京（羽田）路線の運航に係る覚書」を更新しています。

本覚書に伴う運航支援として、年間の有償旅客数が 12 万 7 千人を下回る場合は島根県と関係市町が運航支援金を負担することとなっておりますが、令和 5 年度については、基準旅客数を超える見込みとなっております。

今後は、長らく続いた、新型コロナウイルス感染症の影響による航空需要の減退から回復しつつある状況を鑑み、島根県、全日本空輸株式会社、萩・石見空港利用拡大促進協議会と協力した萩・石見空港の利用促進に努めてまいります。

4 令和 6 年度の取り組みについて

(1) 萩・石見空港利用拡大促進協議会 【予算】 319,948 千円 (R5 対比 101.5%増)

〔推進体制〕 **本年度より江津市が幹事市町に加入。**体制を拡充して利用促進を図る。

〔全体方針〕 「持続可能な地域づくり」と「助成金等に頼りすぎない利用促進策への改善」の両立に向け、PR 活動に注力し、安定した需要を着実に創出していく。

〔助成金例〕

助成メニュー	R5 年度	R6 年度	備考
グループ助成	8 名以上対象	5 名以上対象	人数緩和
乗継プラス	—	500 円/片道	新設
超・大阪夏得	2,500 円/片道	7,000 円/片道	圏域住民の場合

〔PR 事業〕

- ・ 30 周年記念事業で決定したオリジナルキャラクターを活用した周知活動。
- ・ 大阪線の出身者会の帰省利用拡大などによる利用促進。
- ・ 都会地でのメディア等を活用した PR の拡充。



▲トピーくん

(2) 浜田市 【予算】 23,809 千円 (R5 対比 103.0%)

①協議会負担金 6,930 千円 (R5 対比 増減なし)

②市補助事業 16,879 千円 (R5 対比 104.3%)

〔補助額〕

- ・ 浜田市在住者 3 名以上利用 往復 5,000 円
- ・ 2 名以下利用 往復 3,000 円
- ・ 浜田市在住者 浜田市内高校、大学等学生 往復 5,000 円
- ・ 浜田市外在住学生 往復 3,000 円
- ・ 浜田応援団・移住検討者 往復 2,000 円
- ・ 移住決定者 片道 5,000 円

③修学旅行での活用

令和 5 年度 4 校が活用 (第三中学校、旭中学校、弥栄中学校、浜田高等学校理数科)

令和 6 年度 4~6 校 (9~12 月実施予定) が実施・活用に向けた検討・準備中

第 4 弾プレミアム付「はまだ応援チケット」の販売について

令和 6 年 6 月 14 日（金）から販売開始する第 4 弾プレミアム付「はまだ応援チケット」の概要及び今後のスケジュールについては、次のとおりです。

概要

購入対象者	浜田市内在住の全世帯																
購入制限	各販売期間中、1 世帯につき 4 冊まで																
チケット内訳	<p>1 冊 6,000 円分のチケットを 5,000 円で販売</p> <p>○共通券・・・3,000 円</p> <p>○地元応援券・・・3,000 円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>共通券</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>地元応援券</p> </div> </div>																
発行冊数	102,000 冊																
利用期間	令和 6 年 6 月 14 日（金）～9 月 30 日（月）																
購入券	<p>チケットの購入には、広報はまだ 6 月号に折込する購入券が必要</p> <p>※広報はまだによる受取りができない場合は、申請により購入券を発行します。</p>																
販売期間	<p>1 次販売 6 月 14 日（金）～6 月 23 日（日）</p> <p>1 次販売終了後に売れ残りがある場合、下記の日程で追加販売を行います。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>期 間</th> <th>対 象</th> <th>上 限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2 次</td> <td>6 月 28 日（金） ～7 月 2 日（火）</td> <td rowspan="3">浜田市内在住 の全世帯</td> <td>4 冊</td> </tr> <tr> <td>3 次</td> <td>7 月 5 日（金） ～7 月 9 日（火）</td> <td>4 冊</td> </tr> <tr> <td>4 次</td> <td>7 月 12 日（金） ～7 月 16 日（火）</td> <td>4 冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>※4 次販売まで予定していますが、売切れ次第販売終了</p>				期 間	対 象	上 限	2 次	6 月 28 日（金） ～7 月 2 日（火）	浜田市内在住 の全世帯	4 冊	3 次	7 月 5 日（金） ～7 月 9 日（火）	4 冊	4 次	7 月 12 日（金） ～7 月 16 日（火）	4 冊
	期 間	対 象	上 限														
2 次	6 月 28 日（金） ～7 月 2 日（火）	浜田市内在住 の全世帯	4 冊														
3 次	7 月 5 日（金） ～7 月 9 日（火）		4 冊														
4 次	7 月 12 日（金） ～7 月 16 日（火）		4 冊														
販売場所	<p>市内郵便局 24 局、浜田ニューキャッスルホテル 道の駅ゆうひパーク浜田、浜田市観光協会特産品販売所 リフレパークきんたの里、A コープあさひ 小松路、道の駅ゆうひパーク三隅、浜田商工会議所</p>																

令和 5 年度 はまだ産業振興機構 活動実績について

1 全体実績

年度	R4	R5	増減
対応企業数	156社	126社	▲ 30社
対応回数(延べ)	331回	178回	▲ 153回
マッチング支援件数	179件	70件	▲ 109件
成約件数	69件	72件	3件
内新規	15件	12件	▲ 3件
金額	172,301千円	186,348千円	14,047千円
内新規	11,834千円	2,737千円	▲ 9,097千円

※催事など一回の取引も含み、金額は事業者からの聞き取りによる

内訳【R4】	水産 117,079千円	農産 17,398千円	畜産 339千円	その他 37,484千円
【R5】	水産 118,333千円	農産 18,989千円	畜産 2,549千円	その他 46,477千円

2 分野別一覧

(1) 小売業(スーパー・百貨店)

	R4		R5		増減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
関東	42件	57,264千円	34件	54,594千円	▲ 8件	▲ 2,670千円
関西	4件	17,074千円	8件	8,314千円	4件	▲ 8,760千円
その他	12件	2,500千円	12件	13,339千円	0件	10,839千円
合計	58件	76,838千円	54件	76,247千円	▲ 4件	▲ 591千円
内新規	13件	333千円	11件	2,669千円	▲ 2件	2,336千円

内訳【R4】	水産 23,378千円	農産 17,370千円	畜産 339千円	その他 35,751千円
【R5】	水産 10,605千円	農産 18,822千円	畜産 1,511千円	その他 45,309千円

(2) 飲食業(ホテル・飲食店)

	R4		R5		増減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
関東	6件	23,933千円	12件	26,354千円	6件	2,421千円
関西	2件	4,009千円	1件	4,000千円	▲ 1件	▲ 9千円
その他	0件	0千円	0件	0千円	0件	0千円
合計	8件	27,942千円	13件	30,354千円	5件	2,412千円
内新規	1件	4,000千円	0件	0千円	▲ 1件	▲ 4,000千円

内訳【R4】	水産 26,200千円	農産 9千円	畜産 0千円	その他 1,733千円
【R5】	水産 27,999千円	農産 149千円	畜産 1,038千円	その他 1,168千円

(3) 卸売業・その他

	R4		R5		増減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
関東	3件	67,520千円	5件	79,747千円	2件	12,227千円
関西	0件	0千円	0件	0千円	0件	0千円
その他	0件	0千円	0件	0千円	0件	0千円
合計	3件	67,520千円	5件	79,747千円	2件	12,227千円
内新規	1件	7,501千円	1件	68千円	0件	▲ 7,433千円

内訳【R4】	水産 67,501千円	農産 19千円	畜産 0千円	その他 0千円
【R5】	水産 79,729千円	農産 18千円	畜産 0千円	その他 0千円

関東のスーパーでのフェアの様子



浜田港の概況について

1 令和 5 年 浜田税関支署管内貿易概況について

令和 5 年 1 月～12 月の浜田税関支署管内（浜田港・三隅港）の貿易総額（速報値）は、1,785 億 3,800 万円（前年比 89.8%）で、令和 4 年の実績を 201 億 8,200 万円下回った。

輸出入別では、輸出が 35 億 7,200 万円（同 64.2%）で 19 億 8,700 万円の減少、輸入は 1,749 億 6,600 万円（同 90.6%）で 181 億 9,500 万円の減少。輸出入の差引額は 1,713 億 9,500 万円の輸入超過であった。

輸出は、パルプ及び古紙、人造繊維などが増加。輸入は、木材及びコルク、プラスチックが増加したものの石炭などが減少した。

【貿易額内訳】

（単位：百万円）

	令和 5 年		令和 4 年	
	前年比		前年比	
輸 出	64.2%	3,572	106.4%	5,559
輸 入	90.6%	174,966	458.0%	193,161
総 額	89.8%	178,538	419.2%	198,720

【輸 出】

[上位 5 品目]

順位	品目	価額 (百万円)	前年比	構成比
1	パルプ及び古紙	1,253	105.3%	35.1%
2	人造繊維	905	198.4%	25.3%
3	自動車	515	全増	14.4%
4	木材及びコルク	292	102.9%	8.2%
5	金属製品	279	112.1%	7.8%

[上位 5 か国]

順位	国名	価額 (百万円)	前年比	構成比	主な品目
1	中華人民共和国	2,530	133.2%	70.8%	パルプ及び古紙、人造繊維、木材及びコルク
2	大韓民国	492	86.3%	13.8%	金属製品、その他の化学製品、木材及びコルク
3	ロシア	328	92.2 倍	9.2%	自動車、一般機械、再輸出品
4	ベトナム	149	4.3 倍	4.2%	パルプ及び古紙、木材及びコルク、魚介類及び同調製品
5	マレーシア	42	1.4%	1.2%	再輸出品

【輸 入】

[上位 5 品目]

順位	品目	価額 (百万円)	前年比	構成比
1	石炭	151,011	85.3%	86.3%
2	木材及びコルク	14,387	6.1 倍	8.2%
3	無機化合物	4,921	84.4%	2.8%
4	プラスチック	1,879	2.7 倍	1.1%
5	植物性原材料	590	86.1%	0.3%

[上位 5 か国]

順位	国名	価額 (百万円)	前年比	構成比	主な品目
1	オーストラリア	85,900	78.9%	49.1%	石炭、粗鉱物（除りん鉱石）
2	インドネシア	34,016	67.4%	19.4%	石炭、無機化合物
3	アメリカ合衆国	16,719	190.6%	9.6%	石炭、木材及びコルク、プラスチック
4	カナダ	13,690	129.5%	7.8%	木材及びコルク、石炭、採油用の種・ナット及び核
5	南アフリカ共和国	11,131	全増	6.4%	石炭

～出典：2023 年（令和 5 年）浜田税関支署貿易概況（速報）～

2 令和5年度 浜田港国際定期コンテナ航路取扱貨物量の実績について

令和5年度の韓国釜山港との国際定期コンテナ取扱貨物量は、前年度 3,309TEU を上回る 3,826TEU（前年度比 115.6%、517TEU 増）となった。

輸出は、パルプ及び古紙等が減少したものの、人造繊維や木材が増加し、1,829TEU（前年度比 113.0%、211TEU 増）となった。

輸入は、上位5品目含め幅広く増加し、1,997TEU（前年度比 118.1%、306TEU 増）となった。

【コンテナ取扱量（実入）】

年度	輸出	輸入	合計	前年度比	寄港回数	1寄港平均
令和5年度	1,829TEU	1,997TEU	3,826TEU	115.6%	45回	85.0TEU
令和4年度	1,618TEU	1,691TEU	3,309TEU	88.8%	40回	82.7TEU
令和3年度	1,808TEU	1,917TEU	3,725TEU	82.1%	38回	98.0TEU

※令和3年3月下旬より減便（週1便が一時休止中）

【コンテナ利用及び貿易相手国】

◆輸出

[上位5品目]

単位：TEU

順位	品目	R5年度	R4年度
1	木材	586	502
2	パルプ及び古紙	513	565
3	人造繊維	439	236
4	肥料	98	102
5	金属製品	89	69

[上位5カ国]

順位	貿易相手国	R5年度	R4年度
1	中国	77.9%	73.9%
2	韓国	12.2%	15.3%
3	ベトナム	9.0%	9.0%
4	タイ	0.8%	0.9%
5	マレーシア	0.1%	0.0%

◆輸入

[上位5品目]

単位：TEU

順位	品目	R5年度	R4年度
1	無機化合物	504	456
2	ポリエチレン	377	282
3	飼料	256	130
4	化学製品	221	198
5	プラスチック製品	201	144

[上位5カ国]

順位	貿易相手国	R5年度	R4年度
1	中国	45.0%	48.1%
2	韓国	22.1%	26.9%
3	タイ	11.1%	5.5%
4	インド	7.6%	5.9%
5	アメリカ	6.1%	2.2%

※浜田港の貿易状況を表すため、浜田港振興会が独自に集計・作成

3 クルーズ客船の寄港について

令和5年度は、クルーズ客船の寄港に至らなかった。

令和6年度以降については、4月30日「にっぽん丸」の寄港受入れをはじめ賑わいを創出するとともに、継続的な寄港につながる誘致活動を推し進める。

令和5年度 ふるさと寄附の実績について

1 令和5年度概況

個人版ふるさと寄附では、寄附受付ポータルサイトの返礼品ページの改良とともに、特産品開発等支援補助事業の実施や、専門家の派遣による特産品開発支援の協定を締結する等、新規返礼品開発に向け、取り組みを強化しました。またワンストップ特例申請のオンライン受付を、ポータルサイトを選ばず受付が出来るよう機能整備を行うとともに、11月には新ポータルサイト「三越伊勢丹ふるさと納税」を追加するなど、寄附者の更なる利便性の向上及び新たな寄附者層の受付窓口の拡大を図り、寄附増額に取り組みました。

寄附受付状況について前年度と比較すると、需要の高い「のどぐろ」を含む水産品については、原料となる水揚げの減少及び資材の高騰による寄附額の値上げの影響もあり、4月から対前年を下回る状況が続きましたが、のどぐろ禁漁期が明ける8月から徐々に回復し、ふるさと納税制度改定前の9月には、前年同月の約4倍の寄附受付がありました。その後は、全国的な駆け込みの反動による寄附減少の対策として、キャンペーン等も実施しましたが、結果として件数で87.1%、金額で93.1%となりました。

企業版ふるさと納税については、専用ポータルサイトを活用し、受入れ事業を発信するとともに、仲介業者による寄附企業マッチングサービスを利用することに加え、トップセールスを実施した結果、3件、1,300万円の実績となりました。

2 令和5年度寄附実績 金額11億1,252万円

個人版		金額：11億1,252万円 件数：44,271件												令和6年3月31日現在		
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	寄附単価		
金額 (千円)	令和5	36,337	42,875	43,276	46,337	51,738	282,537	58,314	113,997	316,241	34,510	31,501	54,857	1,112,520		
	対前年比	91.7%	87.8%	71.1%	94.2%	98.0%	395.4%	52.0%	54.3%	72.4%	83.7%	94.4%	144.8%	93.1%	25,130	
	4年	39,637	48,827	60,852	49,206	52,775	71,462	112,250	209,971	436,996	41,234	33,384	37,894	1,194,488	23,514	
	3年	44,312	49,470	65,237	58,958	47,200	80,055	109,932	199,826	451,983	46,365	40,939	45,596	1,239,873	23,978	
	2年	61,086	56,642	57,571	49,311	41,950	67,308	128,267	185,186	425,195	44,431	37,066	44,357	1,198,371	23,614	
	元年	53,722	85,382	73,955	63,530	66,439	113,572	94,910	177,178	482,328	38,421	33,925	55,865	1,339,227	23,155	
件数 (件)	令和5	1,592	1,649	1,910	2,101	2,337	10,784	2,307	4,445	10,966	1,452	1,769	2,959	44,271		
	対前年比	83.5%	71.3%	70.0%	82.9%	86.0%	294.8%	48.0%	50.0%	66.3%	96.5%	124.3%	165.1%	87.1%		
	4年	1,906	2,313	2,730	2,533	2,718	3,658	4,803	8,887	16,531	1,505	1,423	1,792	50,799		
	3年	1,989	2,257	3,287	2,742	2,356	3,695	4,638	7,970	16,693	1,803	2,065	2,213	51,708		
	2年	2,682	2,468	2,721	2,262	2,011	2,973	6,188	7,853	16,149	1,747	1,620	2,074	50,748		
	元年	2,874	4,800	3,769	3,425	3,487	5,781	4,057	7,373	17,207	1,314	1,423	2,327	57,837		
用途	第1号 石見神楽等の伝統芸能の継承						288,250	25.9%	第4号 青少年の健全育成・子供を安心して産み育てる環境づくり						276,629	24.9%
	第2号 自然環境並びに歴史的・文化的資源の保全・活用						125,446	11.3%	第5号 農林水産業等の地域産業の振興						94,577	8.5%
	第3号 高齢者福祉・障がい者福祉並びに地域医療の充実						96,719	8.6%	第6号 その他市長が必要と認める						230,919	20.8%
	合計												1,112,540	100.0%		
	企業版 金額：1,300万円 件数：3件															
	用途															

実績月	計画名	寄附事業名	担当課	寄附金額
R5.9月	浜田市まち・ひと・しごと創生推進計画	浜田市まち・ひと・しごと創生推進事業	ふるさと寄附推進室	5,000,000円
R5.9月		浜田市ふるさと寄附特産品開発等支援補助金		5,000,000円
R6.3月	山村地域の木育推進プロジェクト	山村地域の木育推進事業	農林振興課	3,000,000円
合計				13,000,000円

3 令和5年度の主な取り組み

- 返礼品の充実: 令和5年度認定 新規返礼品: 249品
- 特産品開発等支援補助事業開発返礼品: 合計9品
- PRイベント出店

〔水産物2品、肉類3品、果物1品、加工食品・調味料2品、お菓子1品〕



(開発返礼品: ロールステーキ)

◆9/9(土)、10(日) : 日比谷しまね館 『ふるさと寄附活用報告会&特産品お楽しみイベント』

▶参加: 5事業者、6名 ▶試食品: のどぐろ缶詰、金城の華、いちじく、新米、珈琲ほか

◆11/11(土)、12(日) : パシフィコ横浜 『第9回ふるさとチョイス大感謝祭』

▶参加: 8事業者、11名

▶試食品: のどぐろ一夜干、天然あなご丼、のど黒酒ほか

- 楽天ふるさと納税浜田市ページリニューアルオープン



(日比谷しまね館: 活用報告会の様子)

令和5年度の特産品ランキング

(1) 特産品カテゴリ別 寄附金額ランキング

令和4年度					令和5年度				
順位	特産品カテゴリー	件数(件)	寄附金額		順位	特産品カテゴリー ()前年順位比	件数(件)	寄附金額	
			合計(円)	割合				合計(円)	割合
1	のどぐろ関連	29,192	531,021,000	44.43%	1	のどぐろ関連 (-)	21,969	497,818,000	45.35%
2	水産物・水産加工品	7,350	232,743,000	19.48%	2	水産物・水産加工品 (-)	7,530	227,667,000	20.74%
3	お米	3,817	118,804,000	9.94%	3	お米 (-)	3,164	112,157,000	10.22%
4	肉・卵・ぎょうざ	3,898	65,048,000	5.44%	4	飲料・コーヒー (↑)	3,562	63,260,000	5.76%
5	飲料・コーヒー	3,353	56,699,000	4.74%	5	肉・卵・ぎょうざ (↓)	3,305	56,435,000	5.14%
6	加工食品・料理	3,092	44,986,000	3.76%	6	加工食品・料理 (-)	3,444	48,620,000	4.43%
7	水産物鍋セット	2,551	43,722,000	3.66%	7	水産物鍋セット (-)	1,157	18,332,000	1.67%
8	あとからゆづり特産品を選べるプラン	884	31,449,000	2.63%	8	あとからゆづり特産品を選べるプラン (-)	2,408	16,763,000	1.53%
9	関東お食事プラン	372	16,446,000	1.38%	9	野菜、果物 (↑)	1,215	16,612,000	1.51%
10	野菜、果物	1,317	16,340,000	1.37%	10	工芸品 (↑)	80	12,780,000	1.16%
11	工芸品	110	11,412,000	0.95%	11	関東お食事プラン (↓)	313	9,599,000	0.87%
12	バラエティー定期便	135	8,278,000	0.69%	12	スイーツ・和菓子 (↑)	291	3,664,000	0.33%
13	スイーツ・和菓子	549	6,903,000	0.58%	13	お酒 (↑)	205	3,501,000	0.32%
14	お酒	349	6,423,000	0.54%	14	レジャー・体験・宿泊 (↑)	73	3,132,000	0.29%
15	レジャー・体験・宿泊	32	1,950,000	0.16%	15	バラエティー定期便 (↓)	21	2,583,000	0.24%
16	石見神楽関連・グッズ	59	1,620,000	0.14%	16	石見神楽関連・グッズ (-)	37	1,086,000	0.10%
17	その他	70	1,210,000	0.10%	17	その他 (-)	327	3,814,000	0.35%
合計		57,130	1,195,054,000	100.00%	合計		49,101	1,097,823,000	100.00%

※特産品の申し込みがあった寄附金額となります。
 ※ () 表記は前年順位からの変動を示しています。

(2) 特産品寄附金額ランキング (上位15品)

順位	特産品名	寄附金額	申込件数	受入寄附金額	
				合計	割合
1	のどぐろ一夜干し無添加個包装5枚 計800g「大人気セット」	20,000	4,764	95,280,000	8.68%
2	この男の目利き! ~浜田の旨い鮮魚3回お届けコース~	80,000	509	40,720,000	3.71%
3	この男、極める! ~浜田の旨い鮮魚12か月毎月お届けコース~	320,000	92	29,440,000	2.68%
4	「さとふる」山陰浜田産厳選のどぐろ干物(4~5枚)計600g前後 薄塩味(個包装)	20,000	1,377	27,540,000	2.51%
5	特大のどぐろ【大秀商店の一夜干し】	30,000	854	25,620,000	2.33%
6	のどぐろ干物 (4~5枚 計600g 20~22cm前後)	20,000	1,258	25,160,000	2.29%
7	【令和5年産】特別栽培米「匠のつや姫」(10kg×6回コース)	88,000	254	22,352,000	2.04%
8	大秀商店の「のどぐろ(超特大)」(3尾入)	30,000	718	21,540,000	1.96%
9	ポイルでお届け 本松葉蟹(タグ付き)Cセット	70,000	271	18,970,000	1.73%
10	ポイルでお届け 本松葉蟹(タグ付き)Bセット	70,000	255	17,850,000	1.63%
11	大秀商店の「のどぐろ(大)」(5尾入)	30,000	510	15,300,000	1.39%
12	【令和5年産】ほんき村のこしひかり30kg(5kg×6回コース)	49,000	279	13,671,000	1.25%
13	のどぐろ一夜干し無添加個包装5枚 計1.5kg「大満足セット」	35,000	385	13,475,000	1.23%
14	無添加干し柿(西条柿)	10,000	1,328	13,280,000	1.21%
15	幻の高級魚「のどぐろ(鮮魚)」	36,000	359	12,924,000	1.18%

令和5年度 広島事務所活動実績について

1 販路開拓

※訪問企業数は、浜田市外企業の集計

	R2	R3	R4	R5	増減 (R4比)
訪問企業数	24 社	18 社	37 社	35 社	▲ 2 社
訪問回数 (延べ)	61 件	51 件	83 件	57 件	▲ 26 件
成立件数	44 件	37 件	36 件	41 件	5 件
(内新規)	5 件	3 件	8 件	10 件	2 件
金額	124,981 千円	119,305 千円	134,254 千円	108,687 千円	▲ 25,567 千円
(内新規)	4,925 千円	1,010 千円	676 千円	1,806 千円	1,130 千円

【 内 訳 】 R2…水産 93,650千円、農産 6,800千円、畜産 0千円、その他 24,531千円
R3…水産 97,515千円、農産 1,154千円、畜産 0千円、その他 20,636千円
R4…水産 98,786千円、農産 2,165千円、畜産 60千円、その他 33,243千円
R5…水産 84,255千円、農産 3,003千円、畜産 300千円、その他 21,129千円

2 企業誘致

	R2	R3	R4	R5	増減 (R4比)
訪問企業数	8社	6社	14社	9社	▲ 5 社
訪問回数 (延べ)	28件	26件	32件	23件	▲ 9 件
成立企業数	0社	0社	0社	0社	0 社

3 ポートセールス

	R2	R3	R4	R5	増減 (R4比)
訪問企業数	12社	11社	13社	7社	▲ 6 社
訪問回数 (延べ)	26件	13件	15件	17件	2 件
成立企業数 (契約含む)	4社	0社	0社	0社	0 社

4 観光誘客

	R2	R3	R4	R5	増減 (R4比)
誘客数 (延べ)	706人	1,227人	1,761人	2,481人	720 人
施設利用数 (延べ)	1,441人	4,330人	6,035人	8,372人	2,337 人
宿泊数 (延べ)	220泊	373泊	791泊	1,002泊	211 泊



広島県内スーパーでのフェアの様子

令和5年 浜田市農業産出額について

令和6年5月17日
産業建設委員会 資料
産業経済部農林振興課

浜田市産地強化協議会 調べ

(単位:千円)

	平成20年 (参考値)		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年		
	構成比							前年比	対前年	
豚	965,753	28.8%	1,061,031	1,149,286	1,142,980	1,174,711	1,199,565	1,387,746	115.7%	188,181
生乳	-	-	-	196,702	766,920	1,251,037	1,252,008	1,324,185	105.8%	72,177
水稻	1,403,578	41.9%	1,240,669	1,163,076	1,161,648	1,018,683	946,662	948,696	100.2%	2,034
有機野菜	170,413	5.1%	468,460	462,890	486,420	438,190	467,580	456,230	97.6%	▲11,350
牛	147,672	4.4%	150,200	183,470	294,826	370,256	370,748	318,573	85.9%	▲52,175
西条柿	47,924	1.4%	79,910	74,599	57,849	81,929	82,246	83,547	101.6%	1,301
赤梨	132,401	3.9%	69,836	70,427	21,904	36,591	56,470	51,847	91.8%	▲4,623
しいたけ類	97,805	2.9%	42,715	40,596	44,838	51,305	48,004	48,924	101.9%	920
花卉	128,993	3.8%	43,100	42,769	34,450	42,850	49,375	42,119	85.3%	▲7,256
お茶	32,554	1.0%	41,609	40,420	40,000	40,000	40,000	40,000	100.0%	0
ぶどう類	14,434	0.4%	25,807	23,711	22,850	27,307	37,371	38,511	103.1%	1,140
トマト	1,884	0.1%	14,762	81,616	76,898	92,046	73,417	35,255	48.0%	▲38,162
蜂蜜	0	0.0%	26,000	26,000	26,085	31,640	31,119	34,109	109.6%	2,990
観光農園	8,974	0.3%	35,170	42,937	27,538	27,276	31,273	30,249	96.7%	▲1,024
サツマイモ	0	0.0%	15,097	13,047	10,613	10,163	10,906	10,527	96.5%	▲379
キャベツ	14,020	0.4%	10,843	7,234	6,023	6,138	7,133	8,802	123.4%	1,669
なす	7,985	0.2%	9,621	7,128	6,368	6,192	5,369	5,827	108.5%	458
豆類	11,276	0.3%	3,934	2,975	2,647	3,666	4,122	4,003	97.1%	▲119
あすっこ	4,053	0.1%	2,361	2,103	2,029	2,370	3,212	3,420	106.5%	208
いちじく	1,524	0.0%	3,681	3,930	2,385	1,751	1,768	1,546	87.4%	▲222
イチゴ	2,303	0.1%	567	513	296	600	377	584	154.9%	207
ほうれん草	1,958	0.1%	1,013	1,021	915	823	820	498	60.7%	▲322
インゲン	4,344	0.1%	890	664	706	774	498	435	87.3%	▲63
その他	47,207	1.4%	0	0	9	0	0	0	-	0
農産物加工品	822	0.0%	14,789	13,170	13,484	14,571	17,848	20,242	113.4%	2,394
産直市場	105,065	3.1%	247,431	250,072	246,956	236,827	239,669	239,920	100.1%	251
合計	3,352,942	100%	3,609,496	3,900,356	4,497,637	4,967,696	4,977,560	5,135,795	103%	158,235

※ 農業産出額の積算については、1月～12月の暦年を基本としています。

※ 「その他」は、葉タバコ及びメロンの産出額です。

漁業別水揚げについて（報告）

〈令和6年4月〉

令和6年5月17日
産業建設委員会資料No.1
産業経済部水産振興課

◆全体状況◆ 水揚量：1,788トン（前年比：158%、659トン） 水揚金額：3億6,820万円（前年比：108%、2,572万円）

【地元沖合底びき網漁業】水揚量：230トン（前年比121%、40トン）
水揚金額：1億7,791万円（前年比125%、3,547万円）

魚種名	年度	数量(t)	金額(千円)	平均単価/kg
マダイ	R5.4	4.9	5,825	1,179円
	R6.4	18.2	18,073	994円
アナゴ	R5.4	10.4	9,361	900円
	R6.4	20.2	18,790	932円
スルメイカ	R5.4	7.9	7,925	998円
	R6.4	14.4	13,422	933円
ドグロ (メッキン除く)	R5.4	1.7	9,859	5,679円
	R6.4	3.0	13,973	4,610円

◆昨年は3ヶ統(1隻海難事故)による操業であったが、今年は4ヶ統による操業であったため量、金額ともに昨年を上回った。

【地元中型まき網漁業】水揚量：292トン（前年比148%、94トン）
水揚金額：3,654万円（前年比124%、704万円）

魚種名	年度	数量(t)	金額(千円)	平均単価/kg
マイワシ	R5.4	0.04	9	243円
	R6.4	49.0	3,877	79円
マアジ	R5.4	19.1	8,661	453円
	R6.4	52.2	10,833	208円
マサバ	R5.4	176.8	20,372	115円
	R6.4	185.4	20,737	112円

◆どんちっちアジの水揚げが昨年は4月18日であったが、今年は4月中の水揚げが無く、単価安となった。主要3魚種の量・金額ともに昨年を上回った。

【大中型まき網漁業】水揚量：1,149トン（前年比165%、454トン）
水揚金額：1億462万円（前年比80%、▲2,681万円）

魚種名	年度	数量(t)	金額(千円)	平均単価/kg
マイワシ	R5.4	3.9	165	42円
	R6.4	684.9	43,706	64円
マアジ	R5.4	136.3	60,078	441円
	R6.4	124.5	21,284	171円
マサバ	R5.4	523.6	64,092	122円
	R6.4	330.9	36,085	109円

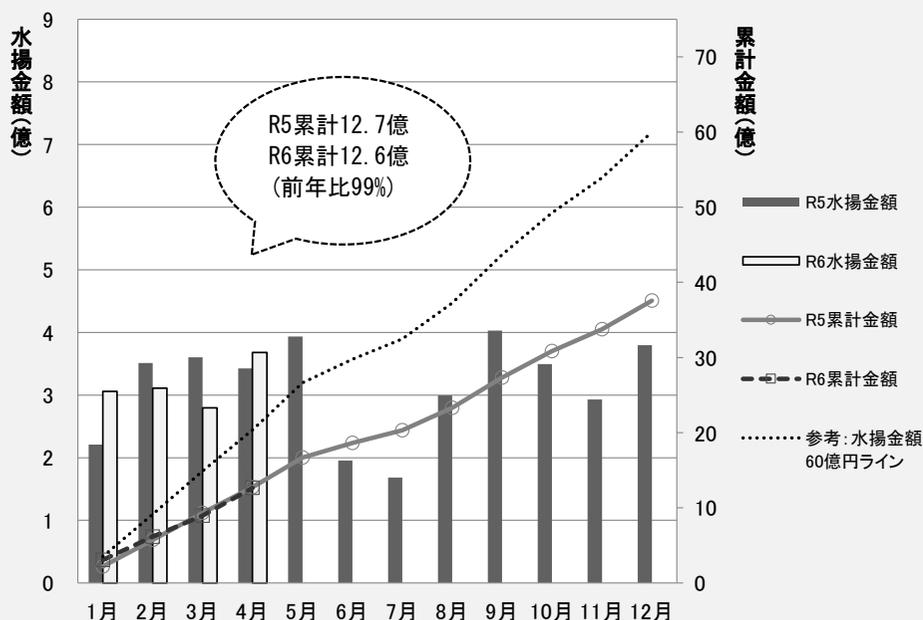
◆どんちっちアジの水揚げが無く、また、イワシ豊漁の影響でサバの漁場形成が遅れたため、水揚金額は昨年を下回った。水揚量はイワシの豊漁により昨年を上回った。

【小型いか釣(5t以上)】水揚量：3.9トン（前年比123%、0.7トン）
水揚金額：390万円（前年比89%、▲47万円）

魚種名	年度	数量(t)	金額(千円)	平均単価/kg
ケンサキイカ	R5.4	1.6	3,300	2,085円
	R6.4	0.3	606	2,105円
スルメイカ	R5.4	1.6	1,036	662円
	R6.4	3.6	3,245	914円

◆スルメイカは昨年を上回る水揚げであったが、単価の良いケンサキイカが不漁であった。

R5・R6 水揚金額



令和5年 令和6年 漁業別水揚げ比較表

4月

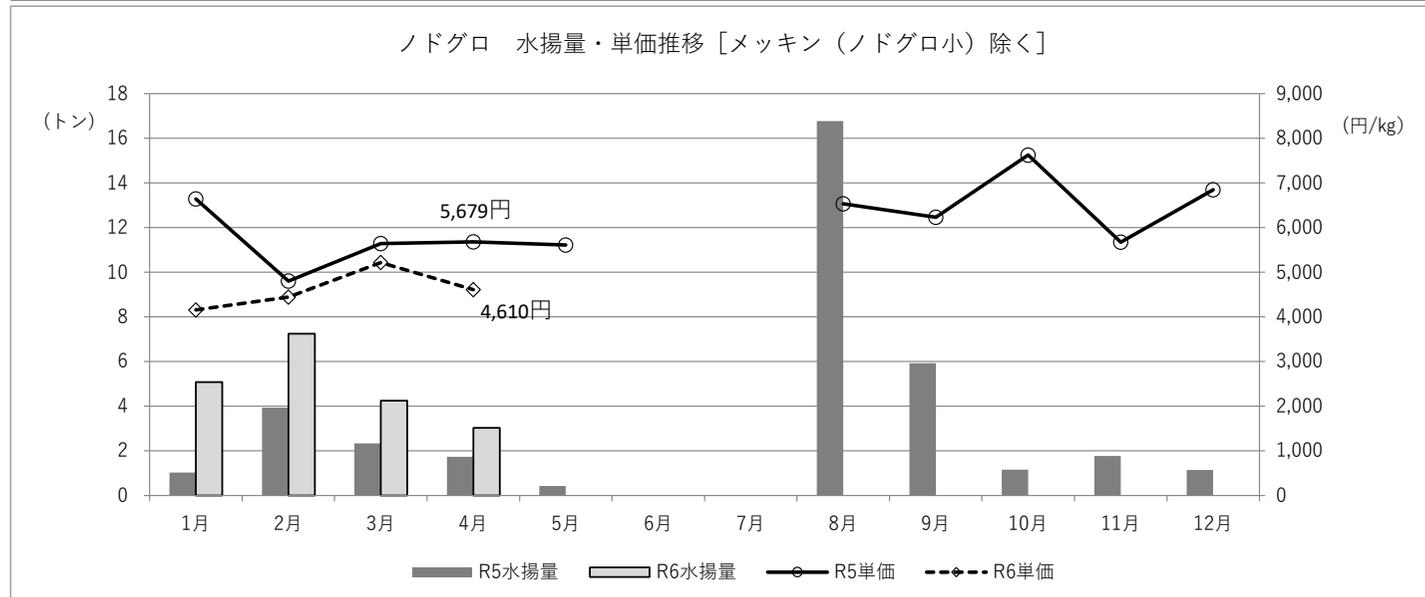
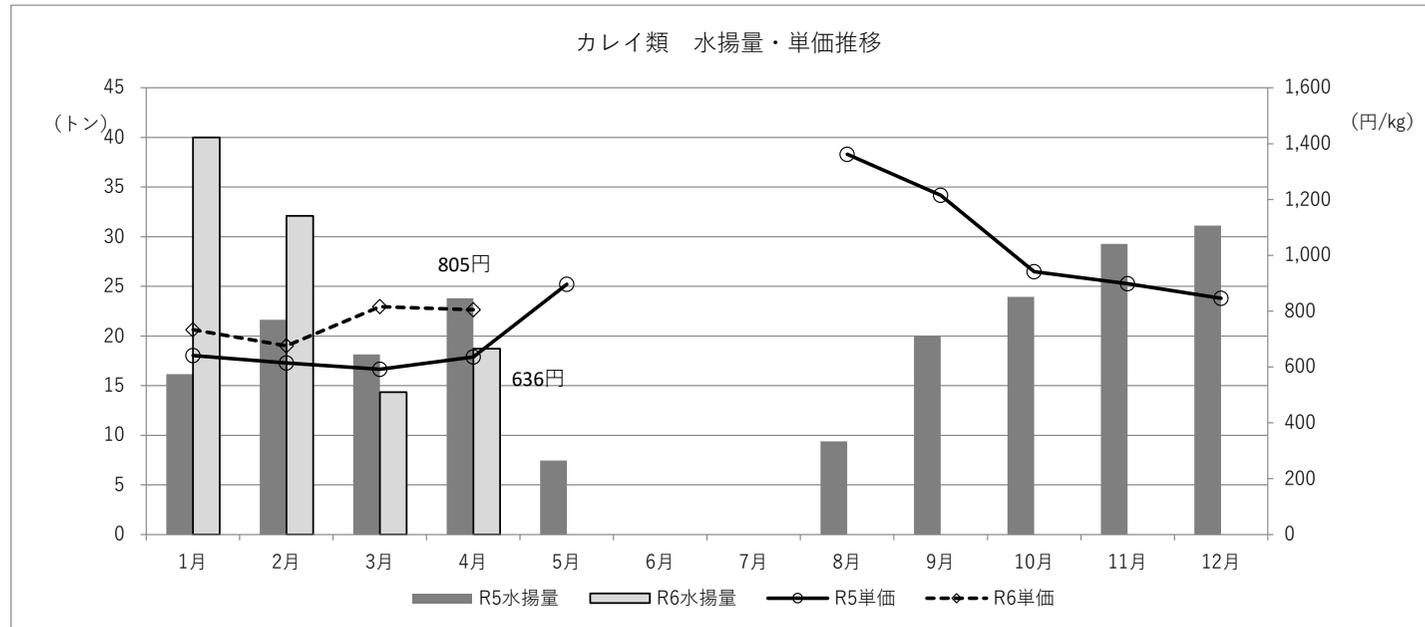
1月～4月累計

令和6年5月17日
産業建設委員会資料No.2
産業経済部水産振興課

漁業種類	年	4月		1月～4月累計						
		数量(kg)	比率(%)	金額(税抜)	比率(%)	金額(税込)	数量(kg)	比率(%)	金額(税抜)	比率(%)
01 沖合底曳網(地元船)	5	190,052.1	121.2	131,887,356	124.9	142,438,387	107.3	548,886,951	124.4	592,798,033
	6	230,393.8		164,732,616		177,911,227		682,791,916		737,415,270
02 沖合底曳網(地元外)	5	0.0	-	0	-	0	-	0	-	0
	6	0.0		0		0		0		0
03 小型底曳網	5	0.0	-	0	-	0	-	0	-	0
	6	0.0		0		0		0		0
04 大中型旋網	5	694,853.0	165.4	121,693,604	79.6	131,429,090	98.2	324,221,441	76.9	350,159,152
	6	1,149,208.0		96,866,203		104,615,500		249,478,056		269,436,301
05 中型旋網(地元船)	5	197,165.4	147.9	27,317,471	123.9	29,502,867	65.2	87,529,199	78.3	94,531,536
	6	291,628.6		33,836,398		36,543,309		68,542,857		74,026,284
06 中型旋網(地元外)	5	0.0	-	0	-	0	84.9	52,614,839	96.9	56,824,025
	6	0.0		0		0		50,995,535		55,075,178
07 小型いか釣(5t以上)	5	3,174.0	122.8	4,046,010	89.2	4,369,691	16.2	35,107,980	22.5	37,916,619
	6	3,898.0		3,607,270		3,895,851		7,908,310		8,540,974
08 いか釣(5t未満)	5	1,052.0	35.4	1,171,350	28.7	1,265,058	31.4	1,245,110	27.0	1,344,719
	6	372.0		335,920		362,794		372.0		362,794
09 大型定置網	5	1,572.9	3,035.6	550,480	1,858.0	594,519	655.0	9,227,550	190.2	9,965,753
	6	47,746.3		10,228,122		11,046,372		17,553,407		18,957,678
10 小型定置網	5	978.0	-	101,400	-	109,512	-	101,400	-	109,512
	6	0.0		0		0		0		0
11 しいら網	5	0.0	-	0	-	0	-	0	-	0
	6	0.0		0		0		0		0
12 一本釣(浜田)	5	9,368.7	192.4	2,827,460	319.6	3,053,658	120.6	12,184,675	211.8	13,159,457
	6	18,026.9		9,035,445		9,758,284		25,804,721		27,869,108
13 一本釣(国府)	5	6,644.5	177.3	1,239,989	189.1	1,339,189	157.4	3,848,809	108.5	4,156,707
	6	11,780.4		2,344,880		2,532,466		4,177,318		4,511,502
14 一本釣(長浜)	5	2,034.6	156.0	4,363,195	98.7	4,712,255	147.4	6,634,015	130.5	7,164,745
	6	3,174.1		4,306,913		4,651,466		8,658,123		9,350,775
15 一本釣(津摩)	5	222.0	861.2	961,890	152.4	1,038,842	115.0	4,113,654	106.7	4,442,753
	6	1,911.9		1,466,295		1,583,596		4,389,912		4,741,101
16 一本釣(三隅)	5	1,045.6	115.8	795,490	75.6	859,130	84.9	2,802,520	108.7	3,026,720
	6	1,210.4		601,180		649,275		3,045,530		3,289,174
17 一本釣(江津)	5	5,809.6	149.3	1,584,610	266.8	1,711,381	125.0	6,161,657	142.7	6,654,590
	6	8,674.0		4,227,988		4,566,225		8,792,972		9,496,408
18 近隣支所	5	9,212.5	103.4	3,076,050	74.9	3,322,134	206.0	10,082,340	76.4	10,888,927
	6	9,527.0		2,303,800		2,488,105		7,705,644		8,322,096
19 その他	5	266.7	95.9	178,035	117.7	192,278	58.7	715,817	65.3	773,078
	6	255.8		209,485		226,243		467,560		504,964
20 陸送	5	5,869.2	171.8	15,315,071	44.5	16,540,277	70.1	74,668,961	40.7	80,642,480
	6	10,081.4		6,822,348		7,368,136		30,379,656		32,810,029
合計	5	1,129,320.8	158.3	317,109,461	107.5	342,478,268	94.6	1,180,146,918	99.2	1,274,558,806
	6	1,787,888.6		340,924,863		368,198,849		1,171,027,437		1,264,709,636
前年との増減		658,567.8		23,815,402		25,720,581		▲ 9,119,481		▲ 9,849,170

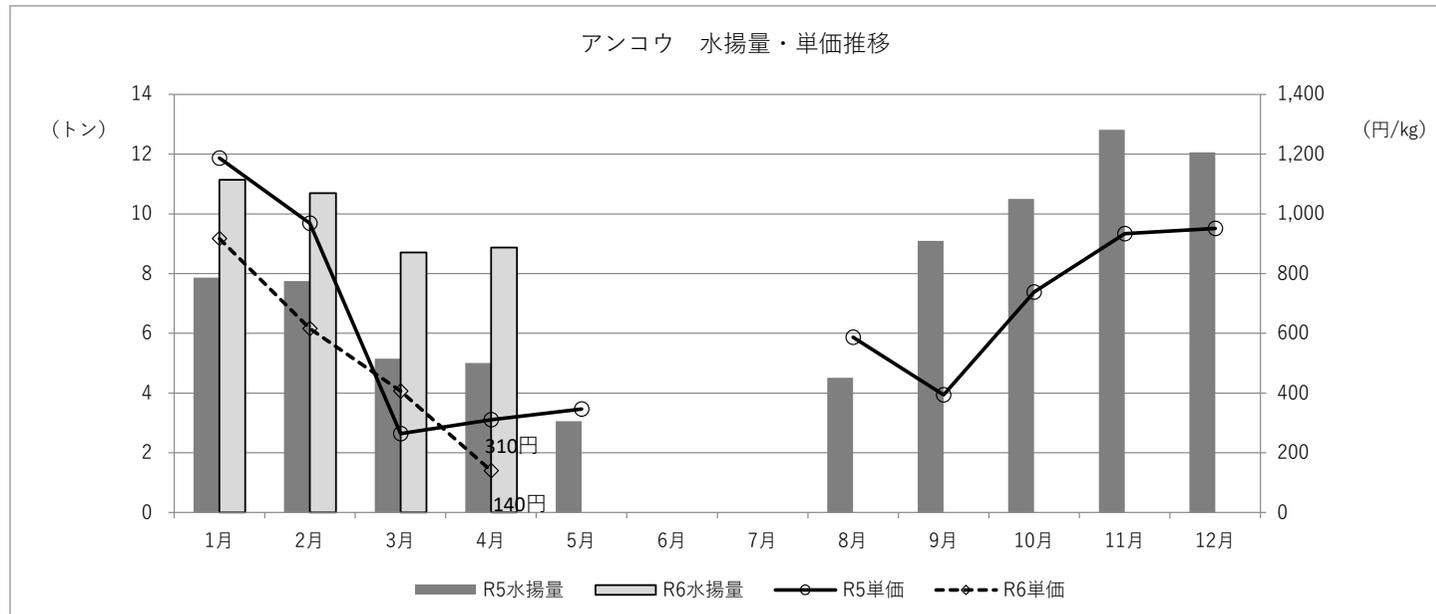
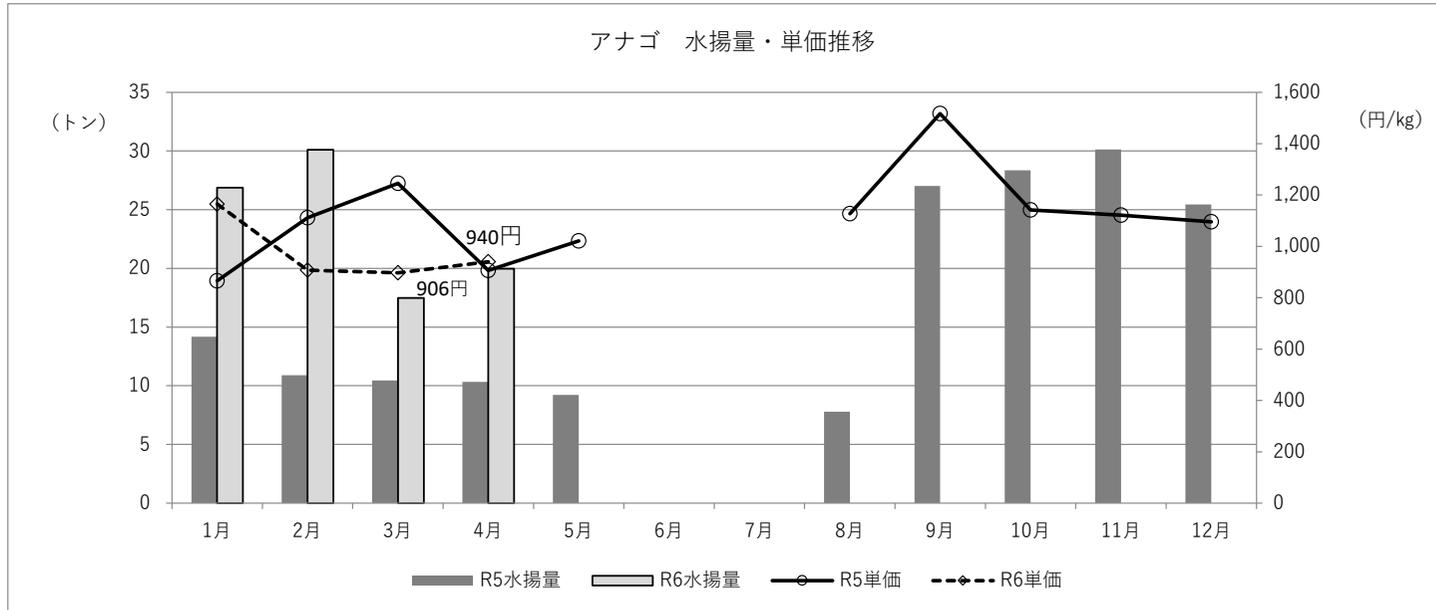
地元沖合底びき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移

令和6年5月17日
産業建設委員会資料No.3
産業経済部水産振興課



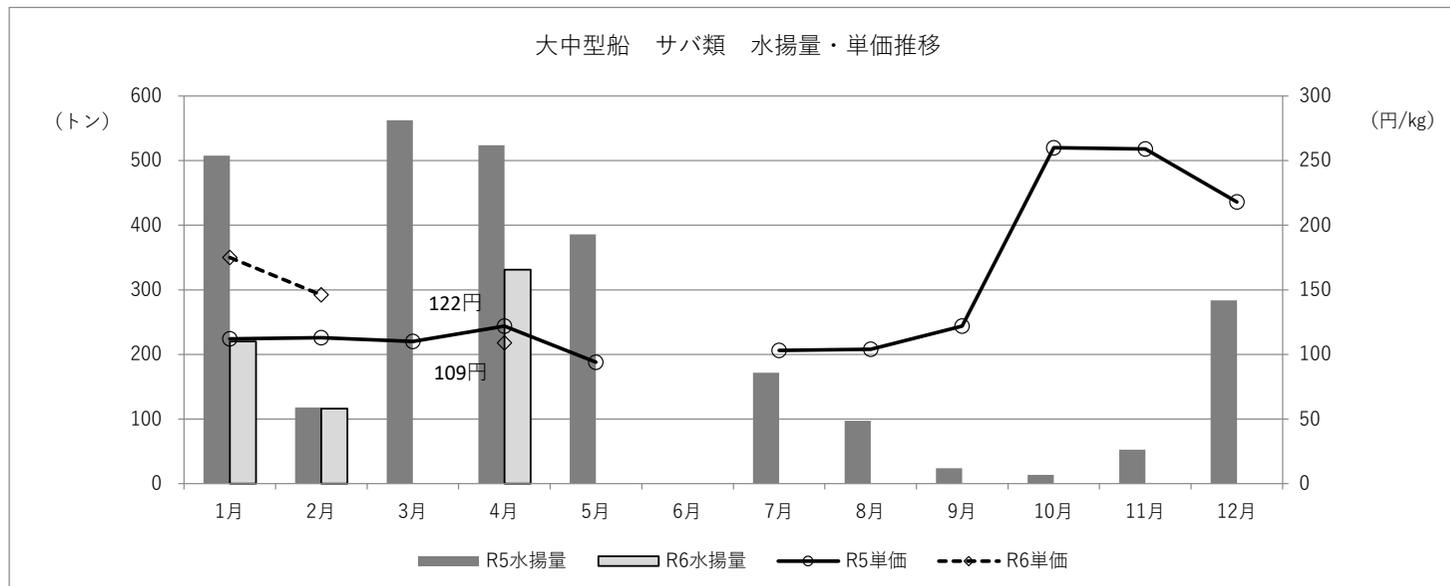
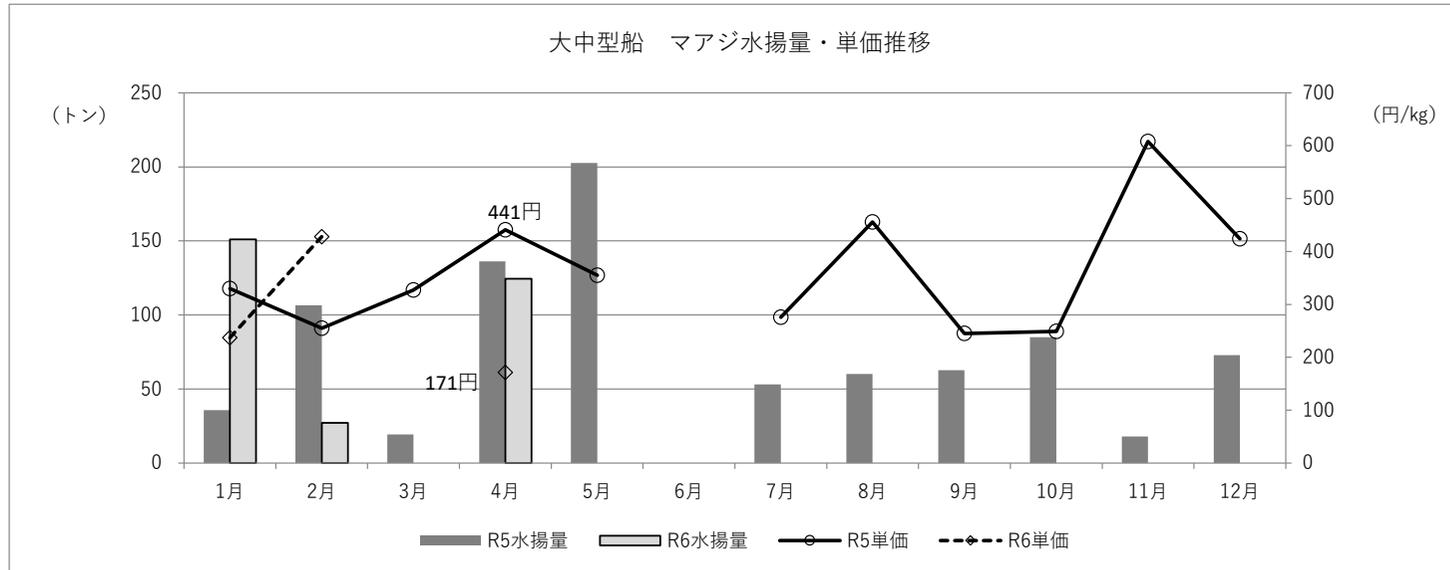
地元沖合底びき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移

令和6年5月17日
産業建設委員会資料No.4
産業経済部水産振興課



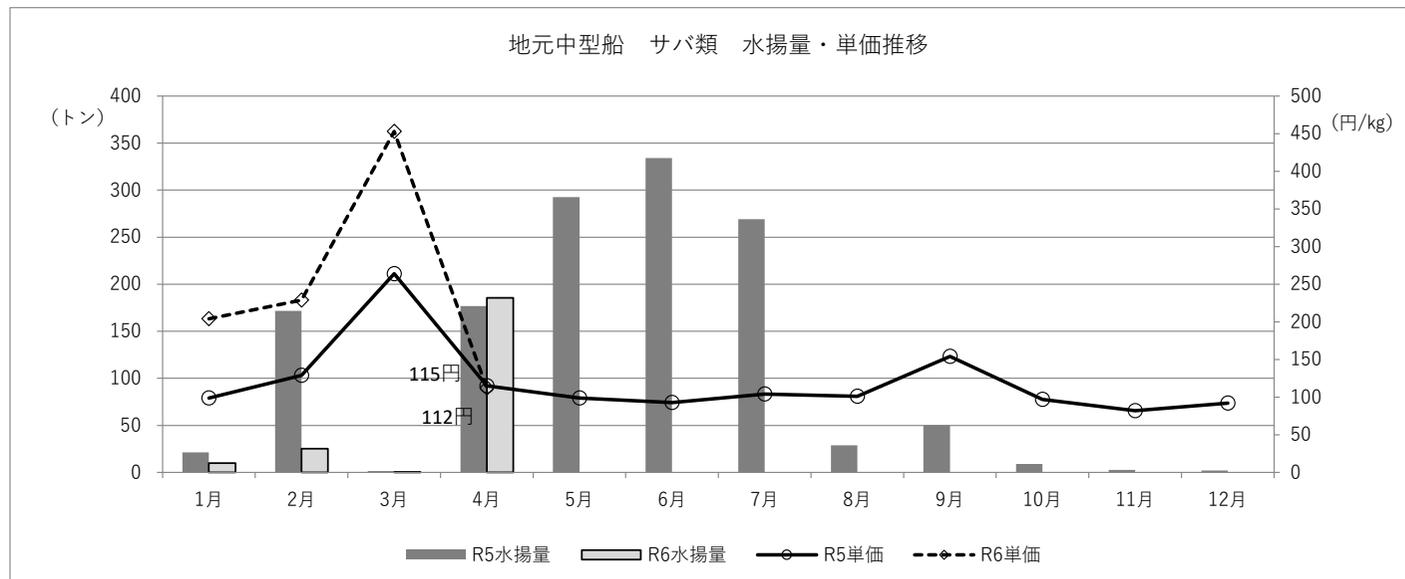
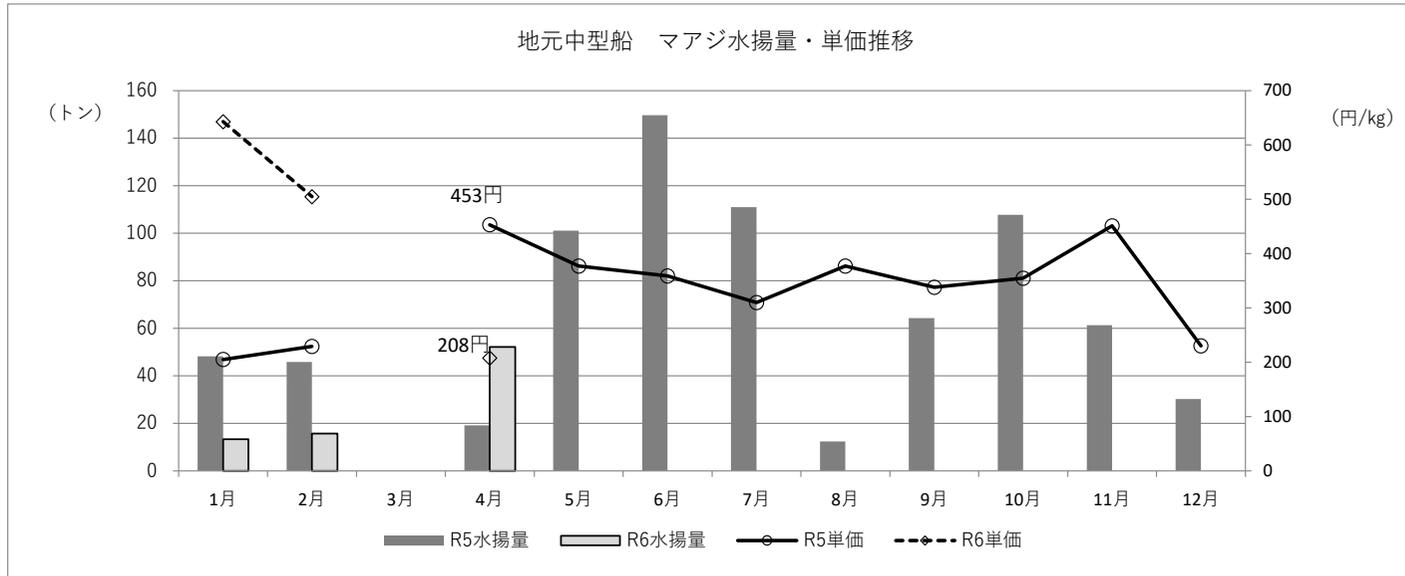
大中型まき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移

令和6年5月17日
産業建設委員会資料No5
産業経済部水産振興課



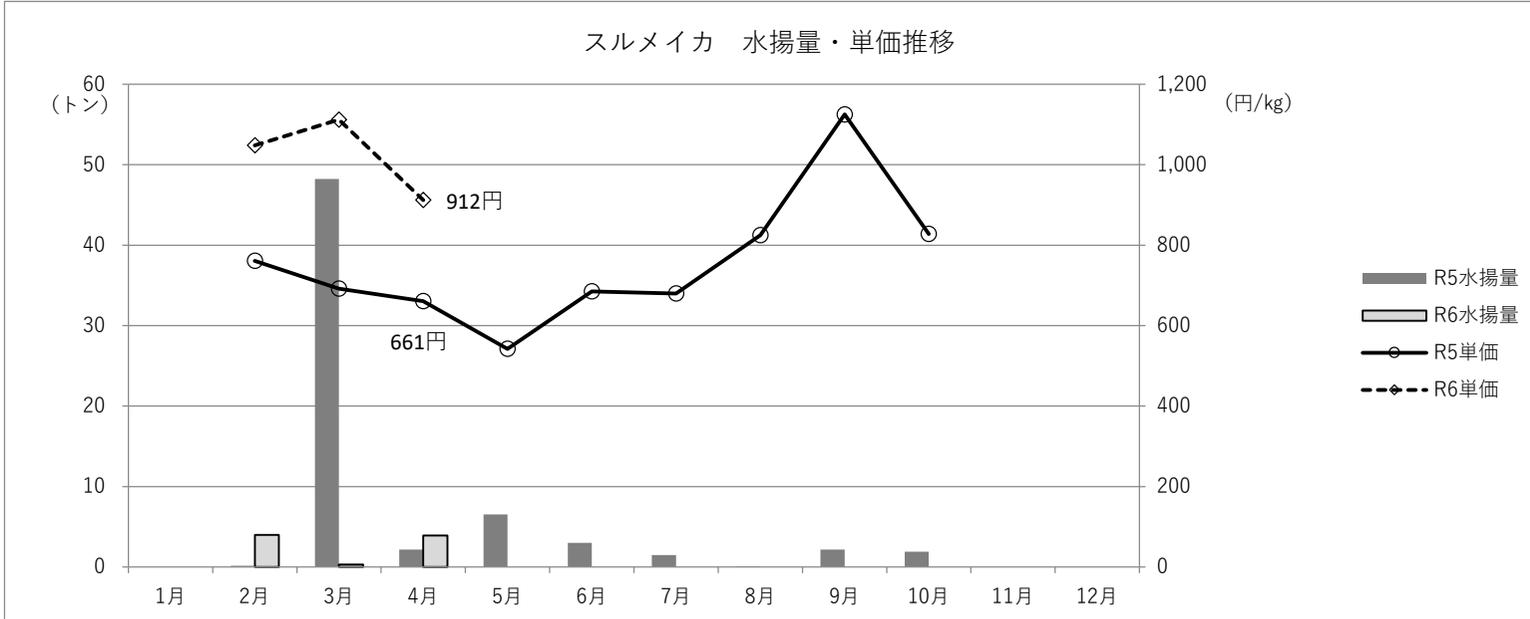
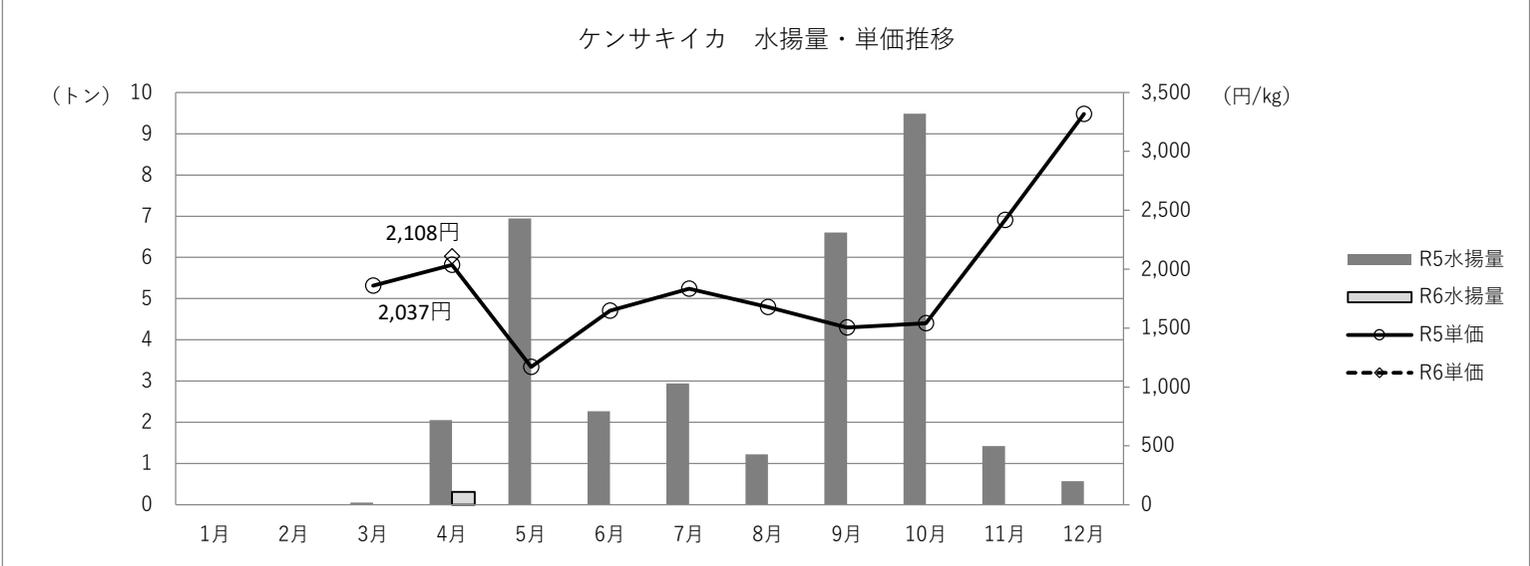
地元中型まき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移

令和6年5月17日
産業建設委員会資料No.6
産業経済部水産振興課



いか釣漁業 (5 t 以上・5 t 未満) 主要魚種水揚量・単価の推移

令和6年5月17日
産業建設委員会資料No.7
産業経済部水産振興課



山陰浜田港公設市場 3か年収支状況

令和6年5月17日
産業建設委員会資料
産業経済部水産振興課

収入

項目	R3実績	R4実績	R5計画	R5実績	前年度対比	計画対比
商業棟1階営業収入	53,240,586円	86,960,369円	86,213,448円	93,059,974円	107.0%	107.9%
利用料金収入	14,000,278円	14,318,183円	15,486,552円	15,514,913円	108.4%	100.2%
雑収入	6,735,271円	723,119円	0円	68,624円	9.5%	-
手数料収入	0円	964,896円	960,000円	1,203,491円	124.7%	125.4%
損失補償費	9,826,566円	0円	0円	0円	-	-
光熱費高騰対策支援	0円	2,732,000円	0円	0円	0.0%	-
収入計(A)	83,802,701円	105,698,567円	102,660,000円	109,847,002円	103.9%	107.0%

支出

項目	R3実績	R4実績	R5計画	R5実績	前年度対比	計画対比
【人件費】	24,231,142円	20,970,066円	20,970,265円	22,634,021円	107.9%	107.9%
賃金給料	11,081,866円	13,044,450円	12,730,000円	14,864,581円	114.0%	116.8%
賃金給料(本社経費)	8,642,240円	4,565,407円	4,785,308円	3,785,688円	82.9%	79.1%
賞与	200,000円	0円	0円	10,000円	-	-
賞与(本社経費)	969,935円	677,362円	531,898円	590,619円	87.2%	111.0%
法定福利費	1,239,123円	1,191,856円	1,320,000円	1,995,521円	167.4%	151.2%
法定福利費(本社経費)	1,523,487円	815,635円	760,552円	624,030円	76.5%	82.0%
福利厚生費	0円	0円	0円	52,000円	-	-
通勤費	286,939円	503,395円	660,000円	606,835円	120.5%	91.9%
通勤費(本社経費)	287,552円	171,961円	182,507円	104,747円	60.9%	57.4%
【管理費】	67,013,298円	88,720,278円	86,826,751円	85,989,981円	96.9%	99.0%
仕入高	35,598,792円	58,396,291円	60,349,416円	63,033,531円	107.9%	104.4%
主要材料費(本社経費)	0円	18,334円	0円	8,087円	44.1%	-
外注加工費	221,150円	262,500円	0円	86,228円	32.8%	-
外注加工費(本社経費)	1,606,968円	3,528,729円	4,200,000円	3,917,604円	111.0%	93.3%
旅費交通費	81,112円	76,489円	120,000円	30,198円	39.5%	25.2%
旅費交通費(本社経費)	497,140円	652,419円	405,000円	229,377円	35.2%	56.6%
贈答品費	0円	15,326円	0円	0円	0.0%	-
交際費	10,500円	0円	24,000円	24,914円	-	103.8%
交際費(本社経費)	726円	9,680円	13,500円	2,444円	25.2%	18.1%
減価償却費/賃借償却	174,392円	206,995円	261,588円	147,000円	71.0%	56.2%
リース料	1,223,670円	1,520,160円	1,590,360円	1,481,160円	97.4%	93.1%
支払保険料	307,656円	157,700円	157,700円	159,240円	101.0%	101.0%
支払保険料(本社経費)	0円	0円	0円	2,250円	-	-

項目	R3実績	R4実績	R5計画	R5実績	前年度対比	計画対比
修繕費	492,400円	454,590円	500,000円	507,600円	111.7%	101.5%
水道光熱費	5,779,060円	6,590,543円	7,200,000円	5,093,033円	77.3%	70.7%
新聞図書費	0円	4,547円	0円	0円	0.0%	-
新聞図書費(本社経費)	0円	0円	0円	7,315円	-	-
消耗品費	1,302,739円	1,114,113円	1,200,000円	1,002,339円	90.0%	83.5%
消耗品費(本社経費)	150,659円	192,287円	5,400円	4,424円	2.3%	81.9%
租税公課	31,155円	600円	0円	0円	0.0%	-
租税公課(本社経費)	4,660円	3,938円	0円	126円	3.2%	-
運賃	0円	10,785円	0円	68,456円	634.7%	-
広告宣伝費	5,260,450円	5,104,282円	1,045,452円	702,988円	13.8%	67.2%
広告宣伝費(本社経費)	0円	0円	0円	0円	-	-
支払手数料	515,908円	1,119,063円	1,320,000円	1,296,681円	115.9%	98.2%
支払手数料(本社経費)	8,710円	6,921円	0円	0円	0.0%	-
研修費	142,399円	0円	120,000円	37,419円	-	31.2%
諸会費	588,869円	588,491円	480,000円	612,430円	104.1%	127.6%
諸会費(本社経費)	21,775円	0円	0円	0円	-	-
保守料	4,534,597円	5,882,694円	6,576,000円	6,008,663円	102.1%	91.4%
通信費	210,090円	184,620円	300,000円	263,578円	142.8%	87.9%
通信費(本社経費)	64,650円	39,221円	18,900円	35,127円	89.6%	185.9%
募集費	30,000円	0円	0円	0円	-	-
車両費	95,944円	100,442円	120,000円	47,551円	47.3%	39.6%
車両費(本社経費)	279,223円	464,114円	329,535円	421,946円	90.9%	128.0%
支払報酬	32,032円	0円	0円	0円	-	-
販売促進費	96,000円	10,809円	0円	148,299円	1,372.0%	-
販売促進費(本社経費)	0円	0円	13,500円	982円	-	7.3%
雑費	474,739円	450,000円	336,000円	472,518円	105.0%	140.6%
雑費(本社経費)	0円	53,930円	140,400円	136,473円	253.1%	97.2%
現金過不足	1,816円	2,000円	0円	0円	0.0%	-
損失補償費	7,173,317円	0円	0円	0円	-	-
光熱費高騰対策支援	0円	1,497,665円	0円	0円	0.0%	-
支出計(B)	91,244,440円	109,690,345円	107,797,016円	108,624,002円	99.0%	100.8%
収支差引(A-B)	△7,441,739円	△3,991,778円	△5,137,016円	1,223,000円	-	-

決算報告書

(第 58 期)

自 令和 2 年 7 月 1 日
至 令和 3 年 6 月 30 日

株式会社 第一ビルサービス

広島市中区大手町5丁目3番12号

貸借対照表

株式会社 第一ビルサービス

令和 3年 6月30日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 1,127,331,683】	【流動負債】	【 929,658,069】
現金及び預金	632,438,448	業務未払金	164,323,228
未収入金	433,663,974	未払金	494,895,770
業務未収入金	39,772,852	未払法人税等	90,640,800
商 品	77,855	前 受 金	66,947,559
貯 蔵 品	522,376	預 り 金	10,522,603
立 替 金	9,392,999	仮 受 金	63,083,809
短期貸付金	4,836,755	未払消費税等	39,244,300
仮 払 金	7,500	【固定負債】	【 674,552,371】
前払費用	7,844,244	長期借入金	573,175,881
前 渡 金	1,505,260	預 り 敷 金	101,376,490
貸倒引当金	42,730,580	負債合計	1,604,210,440
【固定資産】	【 1,779,030,359】		
(有形固定資産)	(1,635,929,556)	純資産の部	
建 物	365,672,066	【株主資本】	【 1,302,151,602】
建物附属設備	146,463,665	資 本 金	30,000,000
構 築 物	29,187,650	(資本剰余金)	(10,000,000)
機 械 装 置	16,744,864	資 本 準 備 金	10,000,000
車 両 運 搬 具	22,518,820	(利益剰余金)	(1,262,151,602)
工具器具備品	13,438,838	利 益 準 備 金	4,900,000
一括償却資産	2,712,222	その他利益剰余金	1,257,251,602
土 地	1,018,120,981	別 途 積 立 金	6,000,000
建設仮勘定	21,070,450	繰越利益剰余金	1,251,251,602
(無形固定資産)	(1,736,007)		
電話加入権	1,236,593		
ソフトウェア	385,957		
給水負担金	113,457		
(投資その他の資産)	(141,364,796)		
出 資 金	13,077,000		
長期貸付金	16,753,253		
差入保証金	4,513,975		
敷 金	12,358,870		
保険積立金	90,666,089		
長期前払費用	3,995,609		
資産合計	2,906,362,042	純資産合計	1,302,151,602
		負債・純資産合計	2,906,362,042

損益計算書

株式会社 第一ビルサービス

自 令和 2年 7月 1日

至 令和 3年 6月30日

単位：円

科 目	金 額	金 額
【売 上 高】		
売 上 高	5,271,303,033	
家 賃 収 入	836,432,937	
売 上 値 引 戻 り 高	△5,224,255	6,102,511,715
【売 上 原 価】		
当 期 役 務 原 価	5,303,302,432	5,303,302,432
	売 上 総 利 益 金 額	799,209,283
【販売費及び一般管理費】		503,033,527
	営 業 利 益 金 額	296,175,756
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	75,635	
受 取 配 当 金	197,400	
雑 収 入	26,166,690	26,439,725
【営 業 外 費 用】		
支 払 利 息 割 引 料	2,058,665	
雑 損 失	217,282	2,275,947
	経 常 利 益 金 額	320,339,534
【特 別 利 益】		
固 定 資 産 売 却 益		630,217
【特 別 損 失】		
固 定 資 産 除 却 損	345,396	
固 定 資 産 圧 縮 損	9,444,380	
損 害 賠 償 金	312,500	10,102,276
	税 引 前 当 期 純 利 益 金 額	310,867,475
	法人税、住民税及び事業税	104,983,689
	当 期 純 利 益 金 額	205,883,786

貸借対照表

株式会社 第一ビルサービス

令和 4年 6月30日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 1,056,543,022】	【流動負債】	【 968,290,429】
現金及び預金	594,611,567	業務未払金	201,262,282
受取手形	320,980	未払金	539,939,543
未収入金	360,480,389	未払法人税等	45,578,000
業務未収入金	53,302,429	前受金	117,219,072
商 品	1,575,141	預り金	11,249,461
貯 蔵 品	6,110,802	仮受金	29,941,471
立 替 金	27,695,094	未払消費税等	23,100,600
短期貸付金	4,836,755	【固定負債】	【 261,713,804】
仮払金	2,853,910	長期借入金	167,414,014
前払費用	5,550,695	預り敷金	94,299,790
前渡金	1,505,260	負債合計	1,230,004,233
貸倒引当金	△2,300,000		
【固定資産】	【 1,673,011,532】		
(有形固定資産)	(1,534,654,114)	純資産の部	
建 物	370,298,248	【株主資本】	【 1,499,550,321】
建物附属設備	155,131,930	資 本 金	30,000,000
構 築 物	29,907,329	(資本剰余金)	(10,000,000)
機 械 装 置	13,784,582	資 本 準 備 金	10,000,000
車両運搬具	5,954,505	(利益剰余金)	(1,459,550,321)
工具器具備品	14,405,558	利 益 準 備 金	4,900,000
一括償却資産	2,308,944	その他利益剰余金	1,454,650,321
土 地	942,863,018	別 途 積 立 金	6,000,000
(無形固定資産)	(1,418,342)	繰越利益剰余金	1,448,650,321
電 話 加 入 権	1,236,593		
ソ フ ト ウ ェ ア	113,517		
給 水 負 担 金	68,232		
(投資その他の資産)	(136,939,076)	純資産合計	1,499,550,321
出 資 金	13,077,000		
長期貸付金	397,775		
差入保証金	7,513,975		
敷 金	12,102,870		
保 険 積 立 金	101,345,635		
長期前払費用	2,501,821	負債・純資産合計	2,729,554,554
資産合計	2,729,554,554		

損益計算書

株式会社 第一ビルサービス

自 令和 3年 7月 1日

至 令和 4年 6月30日

単位：円

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 上 高	5,309,940,412	
家 賃 収 入	1,231,442,996	
不 動 産 譲 渡 売 上	131,625,346	
売 上 値 引 戻 り 高	△6,377,374	6,666,631,380
【売 上 原 価】		
仕 入 高	52,605,230	
不 動 産 譲 渡 原 価	96,299,493	
当 期 役 務 原 価	5,612,320,344	5,761,225,067
	売上総利益金額	905,406,313
【販売費及び一般管理費】		591,810,086
	営業利益金額	313,596,227
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	76,435	
受 取 配 当 金	97,400	
雑 収 入	25,265,753	25,439,588
【営 業 外 費 用】		
支 払 利 息 割 引 料	4,652,833	
雑 損 失	957,492	5,610,325
	経常利益金額	333,425,490
【特 別 利 益】		
貸 倒 引 当 金 戻 入 益		430,580
【特 別 損 失】		
固 定 資 産 除 却 損	347,096	
損 害 賠 償 金	189,120	
貸 倒 損 失	16,009,098	
寄 附 金	17,427,728	33,973,042
	税引前当期純利益金額	299,883,028
	法人税、住民税及び事業税	102,484,309
	当期純利益金額	197,398,719

決算報告書

(第 60 期)

自 令和 4 年 7 月 1 日
至 令和 5 年 6 月 30 日

株式会社 第一ビルサービス

広島市中区大手町5丁目3番12号

貸借対照表

株式会社 第一ビルサービス

令和 5年 6月30日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 1,366,660,785】	【流動負債】	【 1,195,368,306】
現金及び預金	875,281,439	業務未払金	224,542,848
未収入金	386,604,541	関係会社借入金	100,000,000
業務未収入金	60,839,486	未払金	627,469,193
商 品	6,866,342	未払法人税等	46,831,900
貯 蔵 品	271,354	前 受 金	118,336,784
立 替 金	17,176,602	預 り 金	11,926,680
短期貸付金	4,836,755	仮 受 金	33,883,901
仮 払 金	9,211,216	未払消費税等	32,377,000
前 払 費 用	6,369,440	【固定負債】	【 179,078,190】
前 渡 金	1,503,610	長期借入金	87,425,000
貸倒引当金	△2,300,000	預 り 敷 金	91,653,190
【固定資産】	【 1,677,407,920】	負債合計	1,374,446,496
(有形固定資産)	(1,505,921,140)		
建 物	344,088,727		
建物附属設備	157,529,249		
構 築 物	27,986,520		
機 械 装 置	11,333,248		
車 両 運 搬 具	9,283,346		
工 具 器 具 備 品	11,732,528		
一 括 償 却 資 産	1,104,504		
土 地	942,863,018		
(無形固定資産)	(3,766,934)		
電 話 加 入 権	1,236,593		
ソ フ ト ウ ェ ア	2,507,334		
給 水 負 担 金	23,007		
(投資その他の資産)	(167,719,846)		
出 資 金	13,977,000		
長 期 貸 付 金	261,395		
差 入 保 証 金	27,613,975		
敷 金	12,242,870		
保 険 積 立 金	112,170,642		
長 期 前 払 費 用	1,453,964		
資 産 合 計	3,044,068,705	純資産合計	1,669,622,209
		負債・純資産合計	3,044,068,705

損益計算書

株式会社 第一ビルサービス

自 令和 4年 7月 1日

至 令和 5年 6月30日

単位：円

科 目	金 額	金 額
【売 上 高】		
売 上 高	6,241,334,062	
受 取 手 数 料	10,283,968	
家 賃 収 入	1,680,010,381	
売上値引戻り高	△7,664,311	7,923,964,100
【売 上 原 価】		
仕 入 高	384,261,250	
当期役務原価	6,598,655,294	
※ 合 計 ※	6,982,916,544	
期 末 棚 卸 高	△6,760,511	6,976,156,033
	売上総利益金額	947,808,067
【販売費及び一般管理費】		638,322,942
	営業利益金額	309,485,125
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	80,120	
受 取 配 当 金	99,913	
雑 収 入	13,478,362	13,658,395
【営 業 外 費 用】		
支 払 利 息 割 引 料	1,489,525	
雑 損 失	377,960	1,867,485
	経 常 利 益 金 額	321,276,035
【特 別 利 益】		
固 定 資 産 売 却 益		2,465,802
【特 別 損 失】		
固 定 資 産 除 却 損	173,809	
寄 附 金	5,440,000	5,613,809
	税引前当期純利益金額	318,128,028
	法人税、住民税及び事業税	98,056,140
	当期純利益金額	220,071,888

第二号第四様式（第二十三条第四項関係）

ワークくわの木かなぎライディングパーク拠点区分事業活動計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
	0020 当期就労支援事業製造原価	50,671,541	49,440,391	1,231,150
	0021 合計	50,671,541	49,440,391	1,231,150
	0022 差引	50,671,541	49,440,391	1,231,150
	0023 就労支援事業販管費	4,089,119	3,286,076	803,043
	0027 減価償却費	1,286,028	1,048,840	237,188
	4451 減価償却費	1,286,028	1,048,840	237,188
	0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	△162,873	△162,873	0
	4461 国庫補助金等特別積立金取崩額	△162,873	△162,873	0
	サービス活動費用計(2)	111,159,321	103,983,257	7,176,064
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△1,590,887	△4,449,713	2,858,826
サービス活動外増減の部	0093 受取利息配当金収益	60	81	△21
	5821 受取利息配当金収益	60	81	△21
	0098 その他のサービス活動外収益	2,579,641	3,130,838	△551,197
	5874 雑収益	2,579,641	3,130,838	△551,197
	サービス活動外収益計(4)	2,579,701	3,130,919	△551,218
	サービス活動外費用計(5)	0	0	0
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,579,701	3,130,919	△551,218
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	988,814	△1,318,794	2,307,608
特別増減の部	特別収益計(8)	0	0	0
	0042 固定資産売却損・処分損	0	8,476	△8,476
	4932 車輛運搬具売却損・処分損	0	8,476	△8,476
	特別費用計(9)	0	8,476	△8,476
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	△8,476	8,476
	税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	988,814	△1,327,270	2,316,084
	法人税、住民税及び事業税(12)	0	0	0
	法人税等調整額(13)	0	0	0
	当期活動増減差額(14)=(11)-(12)-(13)	988,814	△1,327,270	2,316,084
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(15)	8,345,404	9,672,674	△1,327,270
	当期末繰越活動増減差額(16)=(14)+(15)	9,334,218	8,345,404	988,814
	基本金取崩額(17)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(18)	0	0	0
	その他の積立金積立額(19)	0	0	0
	次期繰越活動増減差額(20)=(16)+(17)+(18)-(19)	9,334,218	8,345,404	988,814

第三号第四様式 (第二十七条第四項関係)

ワークくわの木かなぎ実行インゲパーク拠点区分貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

(単位:円)

	資 産 の 部		負 債 の 部		増 減		
	当年度末	前年度末	当年度末	前年度末			
0001 流動資産	17,525,610	15,368,197	2,157,413	0006 流動負債	9,618,283	8,706,661	911,622
0258 現金預金	2,901,495	1,932,650	968,845	2112 事業未払金	3,516,290	2,762,011	754,279
1131 事業未収金	14,579,593	13,391,245	1,188,348	2124 1年以内返済予定リース債務	978,780	978,780	0
1163 前払費用	44,522	44,302	220	2131 未払費用	3,298,579	3,172,577	116,002
0002 固定資産	5,984,382	7,383,012	△1,398,630	2133 職員預り金	15,668	11,695	3,973
0004 その他の固定資産	5,984,382	7,383,012	△1,398,630	2152 賞与引当金	1,818,966	1,781,598	37,368
1312 建物	170,500	183,700	△13,200	0007 固定負債	3,888,366	4,867,146	△978,780
1313 構築物	202,419	218,295	△15,876	2313 リース債務	3,822,390	4,801,170	△978,780
1316 器具及び備品	656,164	1,012,712	△356,548	2321 退職給付引当金	65,976	65,976	0
1319 有形リース資産	4,801,170	5,779,950	△978,780	負債の部合計	13,506,649	13,573,807	△67,158
1329 退職給付引当資産	65,976	65,976	0	純 資 産 の 部			
1334 長期前払費用	82,713	116,939	△34,226	0010 国庫補助金等特別積立金	669,125	831,998	△162,873
1341 その他の固定資産	5,440	5,440	0	3211 国庫補助金等特別積立金	669,125	831,998	△162,873
				0012 次期繰越活動増減差額	9,334,218	8,345,404	988,814
				3311 次期繰越活動増減差額	9,334,218	8,345,404	988,814
				3312 (うち当期活動増減差額)	988,814	△1,327,270	2,316,084
				純資産の部合計	10,003,343	9,177,402	825,941
資産の部合計	23,509,992	22,751,209	758,783	負債及び純資産の部合計	23,509,992	22,751,209	758,783

第二号第四様式（第二十三条第四項関係）

ワークくわの木かなぎら行'イングパーク拠点区分事業活動計算書

(自) 令和 3年 4月 1日 (至) 令和 4年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
収	0074 就労支援事業収益	48,101,363	49,745,487	△1,644,124	
	5331 請負事業収益	2,034,615	2,090,163	△55,548	
	5332 飲食店事業収益	14,623,179	12,998,578	1,624,601	
	5334 農業・養鶏業等事業収益	1,197,277	1,569,650	△372,373	
	5336 サービス・娯楽事業収益	6,575,670	7,662,709	△1,087,039	
	5337 雑収益	23,670,622	25,424,387	△1,753,765	
	0075 障害福祉サービス等事業収益	51,432,181	50,891,643	540,538	
	0076 自立支援給付費収益	19,884,120	16,656,160	3,227,960	
	5343 訓練等給付費収益	19,884,120	16,656,160	3,227,960	
	0256 障害児施設給付費収益	29,209,115	31,882,950	△2,673,835	
	5353 障害児通所給付費収益	29,209,115	31,882,950	△2,673,835	
	5352 利用者負担金収益	886,195	937,123	△50,928	
	5364 特定費用収益	1,452,751	1,336,510	116,241	
	0078 その他の事業収益	0	78,900	△78,900	
益	5193 新型コロナウイルス感染症対策補助金収益(公費)	0	78,900	△78,900	
	0089 経常経費寄附金収益	0	100,000	△100,000	
	5541 経常経費寄附金収益	0	100,000	△100,000	
	サービス活動収益計(1)	99,533,544	100,737,130	△1,203,586	
	ス	0015 人件費	44,352,670	35,553,760	8,798,910
		4112 職員給料	27,623,973	22,718,969	4,905,004
		4113 職員賞与	4,410,137	3,329,116	1,081,021
		4114 賞与引当金繰入	1,781,598	1,232,639	548,959
		4115 非常勤職員給与	3,721,994	2,830,341	891,653
		4117 退職給付費用	1,192,500	917,500	275,000
		4118 法定福利費	5,622,468	4,525,195	1,097,273
		0016 事業費	4,096,322	3,818,880	277,442
		4211 給食費	0	70,346	△70,346
		4215 保健衛生費	13,699	17,664	△3,965
4218 教養娯楽費		181,502	114,059	67,443	
4223 水道光熱費		626,980	540,229	86,751	
4225 消耗器具備品費		14,188	148,000	△133,812	
4226 保険料		428,842	511,540	△82,698	
4227 賃借料	969,540	559,088	410,452		
4232 車輛費	1,861,571	1,855,556	6,015		
4234 雑費	0	2,398	△2,398		
増	0017 事務費	1,921,831	1,855,350	66,481	
	4311 福利厚生費	211,664	173,234	38,430	
	4313 旅費交通費	17,790	17,000	790	
	4314 研修研究費	96,290	31,000	65,290	
	4315 事務消耗品費	387,870	366,549	21,321	
	4319 修繕費	44,231	65,802	△21,571	
	4321 通信運搬費	253,311	287,504	△34,193	
	4322 会議費	6,080	1,919	4,161	
	4323 広報費	85,000	0	85,000	
	4324 業務委託費	118,800	0	118,800	
	4325 手数料	89,092	106,416	△17,324	
	4329 租税公課	14,220	34,420	△20,200	
	4331 保守料	444,129	591,397	△147,268	
	4332 渉外費	15,464	39,019	△23,555	
の	4333 諸会費	130,600	135,600	△5,000	
	部	4335 雑費	7,290	5,490	1,800

第二号第四様式（第二十三条第四項関係）

ワークくわの木かなぎら行'ング'パーク拠点区分事業活動計算書

(自) 令和 3年 4月 1日 (至) 令和 4年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
	0018 就労支援事業費用	52,726,467	57,712,220	△4,985,753
	0019 就労支援事業販売原価	49,440,391	53,574,101	△4,133,710
	0020 当期就労支援事業製造原価	49,440,391	53,574,101	△4,133,710
	0021 合計	49,440,391	53,574,101	△4,133,710
	0022 差引	49,440,391	53,574,101	△4,133,710
	0023 就労支援事業販管費	3,286,076	4,138,119	△852,043
	0027 減価償却費	1,048,840	634,248	414,592
	4451 減価償却費	1,048,840	634,248	414,592
	0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	△162,873	△29,229	△133,644
	4461 国庫補助金等特別積立金取崩額	△162,873	△29,229	△133,644
	サービス活動費用計(2)	103,983,257	99,545,229	4,438,028
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△4,449,713	1,191,901	△5,641,614
	サービス活動外増減の部	0093 受取利息配当金収益	81	62
5821 受取利息配当金収益		81	62	19
0098 その他のサービス活動外収益		3,130,838	2,760,000	370,838
5874 雑収益		3,130,838	2,760,000	370,838
サービス活動外収益計(4)		3,130,919	2,760,062	370,857
サービス活動外増減の部	サービス活動外費用計(5)	0	0	0
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	3,130,919	2,760,062	370,857
経常増減差額(7)=(3)+(6)		△1,318,794	3,951,963	△5,270,757
特別増減の部	0100 施設整備等補助金収益	0	1,024,100	△1,024,100
	5911 施設整備等補助金収益	0	1,024,100	△1,024,100
	特別収益計(8)	0	1,024,100	△1,024,100
	0042 固定資産売却損・処分損	8,476	7,982	494
	4932 車輛運搬具売却損・処分損	8,476	7,979	497
	4933 器具及び備品売却損・処分損	0	3	△3
	0044 国庫補助金等特別積立金積立額	0	1,024,100	△1,024,100
	4951 国庫補助金等特別積立金積立額	0	1,024,100	△1,024,100
	0047 拠点区分間繰入金費用	0	1,000,000	△1,000,000
	4962 拠点区分間繰入金費用	0	1,000,000	△1,000,000
特別費用計(9)	8,476	2,032,082	△2,023,606	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△8,476	△1,007,982	999,506	
税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△1,327,270	2,943,981	△4,271,251
法人税、住民税及び事業税(12)		0	0	0
法人税等調整額(13)		0	0	0
当期活動増減差額(14)=(11)-(12)-(13)		△1,327,270	2,943,981	△4,271,251
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(15)	9,672,674	6,728,693	2,943,981
	当期末繰越活動増減差額(16)=(14)+(15)	8,345,404	9,672,674	△1,327,270
	基本金取崩額(17)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(18)	0	0	0
	その他の積立金積立額(19)	0	0	0
次期繰越活動増減差額(20)=(16)+(17)+(18)-(19)		8,345,404	9,672,674	△1,327,270

第三号第四様式 (第二十七条第四項関係)

ワークくわの木かなぎライディングパーク拠点区分貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

(単位:円)

	資 産 の 部		負 債 の 部		増 減
	当年度末	前年度末	当年度末	前年度末	
0001 流動資産	15,368,197	16,278,510	8,706,661	7,957,134	749,527
0258 現金預金	1,932,650	3,546,920	2,762,011	3,443,592	△681,581
1131 事業未収金	13,391,245	11,705,740	978,780	498,960	479,820
1153 原材料	0	964,918	3,172,577	2,771,842	400,735
1163 前払費用	44,302	60,932	11,695	10,101	1,594
0002 固定資産	7,383,012	5,073,265	1,781,598	1,232,639	548,959
0004 その他の固定資産	7,383,012	5,073,265	4,867,146	2,727,096	2,140,050
1312 建物	183,700	196,900	4,801,170	2,661,120	2,140,050
1313 構築物	218,295	234,171	65,976	65,976	0
1315 車輦運搬具	0	8,476	13,573,807	10,684,230	2,889,577
1316 器具及び備品	1,012,712	1,388,002			
1319 有形リース資産	5,779,950	3,160,080	331,998	994,871	△162,873
1329 退職給付引当資産	65,976	65,976	831,998	994,871	△162,873
1334 長期前払費用	116,939	0	8,345,404	9,672,674	△1,327,270
1341 その他の固定資産	5,440	19,660	8,345,404	9,672,674	△1,327,270
			△1,327,270	2,943,981	△4,271,251
			9,177,402	10,667,545	△1,490,143
資産の部合計	22,751,209	21,351,775	22,751,209	21,351,775	1,399,434
			純資産の部		
			負債及び純資産の部合計		
			22,751,209	21,351,775	1,399,434

第二号第四様式(第二十三条第四項関係)

ワークくわの木かなぎライティングパーク拠点区分事業活動計算書

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収	0074 就労支援事業収益	49,745,487	56,578,059	△6,832,572
	5331 請負事業収益	2,090,163	1,327,982	762,181
	5332 飲食店事業収益	12,998,578	22,451,710	△9,453,132
	5334 農業・養鶏業等事業収益	1,569,650	1,406,355	163,295
	5336 サービス・娯楽事業収益	7,662,709	11,841,759	△4,179,050
	5337 雑収益	25,424,387	19,550,253	5,874,134
	0075 障害福祉サービス等事業収益	50,891,643	48,048,891	2,842,752
	0076 自立支援給付費収益	16,656,160	17,046,120	△389,960
	5343 訓練等給付費収益	16,656,160	17,046,120	△389,960
	0256 障害児施設給付費収益	31,882,950	25,765,616	6,117,334
	5353 障害児通所給付費収益	31,882,950	25,765,616	6,117,334
	5352 利用者負担金収益	937,123	757,174	179,949
	5364 特定費用収益	1,336,510	1,443,023	△106,513
	0078 その他の事業収益	78,900	3,036,958	△2,958,058
	5371 補助金事業収益(公費)	0	9,180	△9,180
	5372 受託事業収益(公費)	0	3,027,778	△3,027,778
5193 新型コロナウイルス感染症対策補助金収益(公費)	78,900	0	78,900	
0089 経常経費寄附金収益	100,000	0	100,000	
5541 経常経費寄附金収益	100,000	0	100,000	
	サービス活動収益計(1)	100,737,130	104,626,950	△3,889,820
ビ	0015 人件費	35,553,760	39,723,698	△4,169,938
	4112 職員給料	22,718,969	24,785,753	△2,066,784
	4113 職員賞与	3,329,116	5,044,167	△1,715,051
	4114 賞与引当金繰入	1,232,639	1,470,640	△238,001
	4115 非常勤職員給与	2,830,341	2,514,677	315,664
	4117 退職給付費用	917,500	650,500	267,000
	4118 法定福利費	4,525,195	5,257,961	△732,766
	0016 事業費	3,818,880	4,324,816	△505,936
	4211 給食費	70,346	710,616	△640,270
	4215 保健衛生費	17,664	968	16,696
	4218 教養娯楽費	114,059	427,897	△313,838
	4223 水道光熱費	540,229	616,978	△76,749
	4225 消耗器具備品費	148,000	0	148,000
	4226 保険料	511,540	475,178	36,362
	4227 賃借料	559,088	199,476	359,612
	4232 車輛費	1,855,556	1,893,703	△38,147
4234 雑費	2,398	0	2,398	
0017 事務費	1,855,350	2,297,543	△442,193	
4311 福利厚生費	173,234	271,182	△97,948	
4313 旅費交通費	17,000	234,010	△217,010	
4314 研修研究費	31,000	39,200	△8,200	
4315 事務消耗品費	366,549	399,828	△33,279	
4319 修繕費	65,802	67,980	△2,178	
4321 通信運搬費	287,504	306,686	△19,182	
4322 会議費	1,919	0	1,919	
4325 手数料	106,416	71,603	34,813	
4329 租税公課	34,420	63,850	△29,430	
4331 保守料	591,397	668,295	△76,898	
4332 渉外費	39,019	42,819	△3,800	
4333 諸会費	135,600	126,600	9,000	
4335 雑費	5,490	5,490	0	
増				
減				
の				
用				
部				

第二号第四様式（第二十三条第四項関係）

ワークくわの木かなぎライティングパーク拠点区分事業活動計算書

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
	0018 就労支援事業費用	57,712,220	58,266,749	△554,529
	0019 就労支援事業販売原価	53,574,101	53,840,562	△266,461
	0020 当期就労支援事業製造原価	53,574,101	53,840,562	△266,461
	0021 合計	53,574,101	53,840,562	△266,461
	0022 差引	53,574,101	53,840,562	△266,461
	0023 就労支援事業販管費	4,138,119	4,426,187	△288,068
	0027 減価償却費	634,248	300,458	333,790
	4451 減価償却費	634,248	300,458	333,790
	0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	△29,229	0	△29,229
	4461 国庫補助金等特別積立金取崩額	△29,229	0	△29,229
	サービス活動費用計(2)	99,545,229	104,913,264	△5,368,035
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	1,191,901	△286,314	1,478,215	
サービス活動外増減の部	0093 受取利息配当金収益	62	83	△21
	5821 受取利息配当金収益	62	83	△21
	0098 その他のサービス活動外収益	2,760,000	37,640	2,722,360
	5874 雑収益	2,760,000	37,640	2,722,360
	サービス活動外収益計(4)	2,760,062	37,723	2,722,339
サービス活動外増減の部	サービス活動外費用計(5)	0	0	0
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,760,062	37,723	2,722,339
経常増減差額(7)=(3)+(6)		3,951,963	△248,591	4,200,554
特別増減の部	0100 施設整備等補助金収益	1,024,100	0	1,024,100
	5911 施設整備等補助金収益	1,024,100	0	1,024,100
	特別収益計(8)	1,024,100	0	1,024,100
	0042 固定資産売却損・処分損	7,982	1	7,981
	4932 車輛運搬具売却損・処分損	7,979	1	7,978
	4933 器具及び備品売却損・処分損	3	0	3
	0044 国庫補助金等特別積立金積立額	1,024,100	0	1,024,100
	4951 国庫補助金等特別積立金積立額	1,024,100	0	1,024,100
	0047 拠点区分間繰入金費用	1,000,000	0	1,000,000
	4962 拠点区分間繰入金費用	1,000,000	0	1,000,000
特別費用計(9)	2,032,082	1	2,032,081	
特別増減差額(10)=(8)-(9)		△1,007,982	△1	△1,007,981
税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		2,943,981	△248,592	3,192,573
法人税、住民税及び事業税(12)		0	0	0
法人税等調整額(13)		0	0	0
当期活動増減差額(14)=(11)-(12)-(13)		2,943,981	△248,592	3,192,573
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(15)	6,728,693	6,977,285	△248,592
	当期末繰越活動増減差額(16)=(14)+(15)	9,672,674	6,728,693	2,943,981
	基本金取崩額(17)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(18)	0	0	0
	その他の積立金積立額(19)	0	0	0
次期繰越活動増減差額(20)=(16)+(17)+(18)-(19)		9,672,674	6,728,693	2,943,981

ワークくわの木かなぎライジングパブリック拠点区分貸借対照表

令和3年3月31日現在

第三号第四様式（第二十七条第四項関係）

(単位：円)

	資 産 の 部			負 債 の 部		
	当年度末	前年度末	増 減	当年度末	前年度末	増 減
0001 流動資産	16,278,510	13,570,103	2,708,407	7,957,134	7,980,816	△23,682
0258 現金預金	3,546,920	968,030	2,578,890	3,443,592	2,944,552	499,040
1131 事業未収金	11,705,740	11,100,711	605,029	0	134,604	△134,604
1132 未収金	0	134,604	△134,604	498,960	0	498,960
1133 未収補助金	0	9,180	△9,180	2,771,842	2,841,837	△69,995
1153 原材料	964,918	1,186,525	△221,607	10,101	264,550	△254,449
1163 前払費用	60,932	171,053	△110,121	0	43,000	△43,000
0002 固定資産	5,073,265	1,205,382	3,867,883	1,232,639	1,752,273	△519,634
0004 その他の固定資産	5,073,265	1,205,382	3,867,883	2,727,096	65,976	2,661,120
1312 雑物	196,900	0	196,900	2,661,120	0	2,661,120
1313 構築物	234,171	250,047	△15,876	65,976	65,976	0
1315 車両運搬具	8,476	118,160	△109,684	10,684,230	8,046,792	2,637,438
1316 器具及び備品	1,388,002	702,344	685,658	0	0	0
1319 有形リース資産	3,160,080	0	3,160,080	0	0	0
1329 退職給付引当資産	65,976	65,976	0	994,871	0	994,871
1334 長期前払費用	0	11,175	△11,175	994,871	0	994,871
1341 その他の固定資産	19,660	57,680	△38,020	9,672,674	6,728,693	2,943,981
				9,672,674	6,728,693	2,943,981
				2,943,981	△248,592	3,192,573
				10,667,545	6,728,693	3,938,852
資産の部合計	21,351,775	14,775,485	6,576,290	21,351,775	14,775,485	6,576,290
				純資産の部		
				0010 国庫補助金等特別積立金	994,871	0
				3211 国庫補助金等特別積立金	994,871	0
				0012 次期繰越活動増減差額	9,672,674	6,728,693
				3311 次期繰越活動増減差額	9,672,674	6,728,693
				3312 (うち当期活動増減差額)	2,943,981	△248,592
				純資産の部合計	10,667,545	6,728,693
				負債及び純資産の部合計	21,351,775	14,775,485

決 算 報 告 書

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月 31日

(株) かいげつ (施設名 きんたの里)

貸借対照表

(単位：円)

(株) かいげつ (施設名 きんたの里)

令和 5年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	73,444,036】	【流動負債】	14,677,906】
現金及び預金	64,340,811	買掛金	4,340,290
売掛金	6,764,281	未払金	3,658,026
商 品	517,988	未払費用	6,200,187
原 材 料	577,311	預 り 金	120,313
貯 蔵 品	975,645	預 り 入 湯 税	95,550
釣 銭 用 仮 払	268,000	予 約 金	263,540
【固定資産】	1,444,532】	[本支店勘定]	70,204,002
(有形固定資産)	(1,444,532)	負債の部計	84,881,908
構 築 物	1,077,923	純 資 産 の 部	
車 両 運 搬 具	1	【株主資本】	△9,993,340】
一括償却資産	366,608	[利益剰余金]	[△9,993,340]
		(その他利益剰余金)	(△9,993,340)
		繰越利益剰余金	△9,993,340
		(うち当期純利益)	(3,399,390)
		純資産の部計	△9,993,340
資産の部計	74,888,568	負債・純資産の部計	74,888,568

損 益 計 算 書

(単位：円)

自 令和 4年 4月 1日

(株) かいげつ (施設名 きんたの里)

至 令和 5年 3月31日

科 目	金	額
【売 上 高】		
宿泊等売上高	147,593,876	147,593,876
【売 上 原 価】		
期首棚卸高	753,862	
商品仕入高	26,654,169	
売店仕入高	8,723,573	
その他仕入	503,241	
合 計	36,634,845	
期末棚卸高	1,095,299	35,539,546
売上総利益		112,054,330
【販売費及び一般管理費】		118,785,098
営業利益		△6,730,768
【営業外収益】		
受取利息	439	
雑収入	10,894,894	10,895,333
【営業外費用】		
カード手数料	764,056	
雑損失	1,119	765,175
経常利益		3,399,390
税引前当期純利益		3,399,390
当期純利益		3,399,390

販売費・一般管理費内訳書

(単位：円)

自 令和 4年 4月 1日

(株) かいげつ (施設名 きんたの里)

至 令和 5年 3月31日

科 目	金 額	額
役員報酬	747,000	
給料手当	53,101,925	
法定福利費	6,212,603	
福利厚生費	333,276	
広告宣伝費	1,386,839	
運賃	12,298	
販売手数料	6,837,082	
業務委託費	1,916,894	
水道光熱費	31,265,260	
燃料費	219,856	
事務用消耗品費	272,341	
消耗品費	6,138,981	
リース料	783,970	
支払保険料	262,900	
修繕維持費	5,691,873	
租税公課	230,765	
減価償却費	406,460	
接待交際費	120,128	
旅費交通費	936,840	
通信費	740,863	
支払手数料	786,871	
諸会費	189,618	
寄付金	10,000	
新聞図書費	150,000	
地代家賃	30,000	
雑費	455	
合 計		118,785,098

報 告 書

前記のとおりご報告申し上げます。

(株) かいげつ (施設名 きんたの里)

代表取締役 齋藤敦夫

決算報告書

(第1期)

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

橋本商店株式会社 道の駅ゆひパーク三隅

貸借対照表

橋本商店株式会社 道の駅ゆうひパーク三隅

令和 4年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 11,562,322】	【流動負債】	【 5,139,676】
現金及び預金	8,213,730	未払金	2,287,618
商品	408,830	未払費用	621,051
未収入金	1,700,846	預り金	11,220
仮払消費税等	1,238,916	仮受消費税等	2,219,787
【固定資産】	【 3,654,531】	負債合計	5,139,676
(有形固定資産)	(3,654,531)		
建物附属設備	2,427,032		
構築物	475,000		
機械装置	1,041,852		
減価償却累計額	△289,353		
		純資産の部	
		【株主資本】	【 10,077,177】
		資本金	0
		本支店勘定	7,013,989
		(利益剰余金)	(3,063,188)
		その他利益剰余金	3,063,188
		繰越利益剰余金	3,063,188
		純資産合計	10,077,177
資産合計	15,216,853	負債・純資産合計	15,216,853

損益計算書

橋本商店株式会社 道の駅ゆうひパーク三隅

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

単位：円

科 目	金 額	
【売 上 高】		
カフエ売上高	7,774,681	
物販売上高	17,006,710	
なごみ売上高	15,689,947	
自販機収入	785,397	
出店収入	380,992	
その他収入	7,445	
出張販売	8,325	
損失補償費	1,467,376	
指定管理収入	9,757,274	52,878,147
【売上原価】		
カフエ仕入高	2,571,770	
物販仕入高	12,388,471	
なごみ仕入高	6,003,062	
仕入値引戻し高	△4,232	
合計	20,959,071	
期末棚卸高	△408,830	20,550,241
売上総利益金額		32,327,906
【販売費及び一般管理費】		30,764,093
営業利益金額		1,563,813
【営業外収益】		
受取利息	94	
値引収入	100	
雑収入	1,522,081	1,522,275
【営業外費用】		
雑損失		22,900
経常利益金額		3,063,188
税引前当期純利益金額		3,063,188
当期純利益金額		3,063,188

販売費及び一般管理費

橋本商店株式会社 道の駅ゆうひパーク三隅

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

単位：円

科 目	金 額
役 員 報 酬	3,600,000
給 与 手 当	8,298,019
雑 給	4,828,644
賞 与 手 当	160,000
法 定 福 利 費	1,179,019
福 利 厚 生 費	316,118
外 注 労 務 費	60,945
旅 費 交 通 費	173,179
通 信 費	159,273
交 際 費	158,977
寄 付 金	20,000
会 議 費	482
減 価 償 却 費	597,311
リ ー ス 料	1,057,303
保 険 料	80,710
修 繕 費	5,950
維 持 ・ 修 繕 費	1,969,137
水 道 光 熱 費	2,781,377
燃 料 費	11,415
備 品 ・ 消 耗 品 費	3,281,444
租 税 公 課	66,012
運 賃	3,220
事 務 用 品 費	299,637
広 告 宣 伝 費	561,472
申 請 ・ 支 払 手 数 料	446,459
諸 会 費	51,000
研 修 費	258,638
顧 問 料	72,401
イ ベ ン ト 費	255,047
雑 費	10,904
合 計	30,764,093



決算報告書

(第 2 期)

自 令和 4 年 4 月 1 日
至 令和 5 年 3 月 31 日

橋本商店株式会社 道の駅ゆうひパーク三隅



貸借対照表

橋本商店株式会社 道の駅ゆうひパーク三隅

令和 5年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 10,613,158】	【流動負債】	【 6,373,619】
現金及び預金	7,514,871	未払金	2,807,003
商 品	406,255	未払費用	742,720
未収入金	1,003,240	仮受消費税等	2,823,896
仮払消費税等	1,688,792	負債合計	6,373,619
【固定資産】	【 3,640,254】	純資産の部	
(有形固定資産)	(3,640,254)	【株主資本】	【 7,879,793】
建物附属設備	2,258,785	資本金	0
構築物	425,000	本支店勘定	557,839
機械装置	1,171,390	(利益剰余金)	(7,321,954)
減価償却累計額	△214,921	その他利益剰余金	7,321,954
		繰越利益剰余金	7,321,954
		純資産合計	7,879,793
資産合計	14,253,412	負債・純資産合計	14,253,412

損益計算書

橋本商店株式会社 道の駅ゆうひパーク三隅

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

単位：円

科 目	金 額	
【売 上 高】		
カフエ売上高	8,527,879	
物販売上高	21,431,889	
なごみ売上高	19,291,819	
自販機収入	911,173	
出店収入	597,363	
損失補償費	288,157	51,048,280
【売上原価】		
期首棚卸高	408,830	
カフエ仕入高	2,859,295	
物販仕入高	15,384,915	
なごみ仕入高	7,789,199	
仕入値引戻し高	△7,335	
＊ ＊ 合計 ＊ ＊	26,434,904	
期末棚卸高	△406,255	26,028,649
売上総利益金額		25,019,631
【販売費及び一般管理費】		31,465,733
営業損失金額		△6,446,102
【営業外収益】		
受取利息	117	
雑収入	1,159,295	
指定管理収入	9,545,456	10,704,868
経常利益金額		4,258,766
税引前当期純利益金額		4,258,766
当期純利益金額		4,258,766

販売費及び一般管理費

橋本商店株式会社 道の駅ゆうひパーク三隅

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

単位：円

科 目	金 額
役 員 報 酬	3,600,000
給 与 手 当	9,113,532
雑 給 ・ 外 注 労 務	4,760,812
賞 与 手 当	1,235,000
法 定 福 利 費	1,690,751
福 利 厚 生 費	137,257
外 注 労 務 費	68,948
旅 費 交 通 費	2,064
通 信 費	142,398
交 際 費	66,634
寄 付 金	10,000
減 価 償 却 費	404,277
リ ー ス 料	1,094,400
保 険 料	72,590
維 持 ・ 修 繕 費	756,533
年) 修繕費 (ゆうひ)	461,780
水 道 光 熱 費	3,641,111
備 品 ・ 消 耗 品 費	1,908,775
租 税 公 課	17
事 務 用 品 費	169,536
広 告 宣 伝 費	544,612
申 請 ・ 支 払 手 数 料	510,447
諸 会 費	19,000
研 修 費	16,728
顧 問 料	83,200
イ ベ ン ト 費	933,163
雑 費	22,168
合 計	31,465,733



決算報告書

(第 3 期)

自 令和 5 年 4 月 1 日
至 令和 6 年 3 月 31 日

橋本商店株式会社 道の駅ゆうひパーク三隅



貸借対照表

橋本商店株式会社 道の駅ゆうひパーク三隅

令和 6年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 12,896,565】	【流動負債】	【 6,040,056】
現金及び預金	10,523,172	未払金	2,471,889
商 品	489,985	未払費用	873,097
立 替 金	10,000	前 受 金	2,000
前 払 費 用	66,848	仮受消費税等	2,693,070
未 収 入 金	207,476	負債合計	6,040,056
仮払消費税等	1,599,084		
【固定資産】	【 3,160,690】		
(有形固定資産)	(3,160,690)	純資産の部	
建物附属設備	2,090,538	【株主資本】	【 10,017,199】
構 築 物	375,000	資 本 金	0
機 械 装 置	919,169	本支店勘定	3,243,931
減価償却累計額	△224,017	(利益剰余金)	(6,773,268)
		その他利益剰余金	6,773,268
		繰越利益剰余金	6,773,268
		純資産合計	10,017,199
資産合計	16,057,255	負債・純資産合計	16,057,255

損益計算書

橋本商店株式会社 道の駅ゆうひパーク三隅

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

単位：円

科	目	金	額
【売 上 高】			
	カ フ ェ 売 上 高	9,204,069	
	物 販 売 上 高	23,325,737	
	な ご み 売 上 高	19,121,397	
	自 販 機 収 入	909,949	
	出 店 収 入	561,904	53,123,056
【売 上 原 価】			
	期 首 棚 卸 高	486,618	
	カ フ ェ 仕 入 高	3,375,095	
	物 販 仕 入 高	16,835,266	
	な ご み 仕 入 高	8,068,617	
	仕 入 値 引 戻 し 高	△7,428	
	* * 合 計 * *	28,758,168	
	期 末 棚 卸 高	△570,348	28,187,820
	売 上 総 利 益 金 額		24,935,236
【販売費及び一般管理費】			35,363,853
	営 業 損 失 金 額		△10,428,617
【営 業 外 収 益】			
	受 取 利 息	109	
	雑 収 入	698,002	
	指 定 管 理 収 入	9,181,820	9,879,931
	経 常 損 失 金 額		△548,686
	税 引 前 当 期 純 損 失 金 額		△548,686
	当 期 純 損 失 金 額		△548,686

販売費及び一般管理費

橋本商店株式会社 道の駅ゆうひパーク三隅

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

単位：円

科	目	金	額
役 員 報 酬		4,560,000	
給 与 手 当		10,262,682	
雑 給 ・ 外 注 労 務		5,120,942	
賞 与 手 当		880,006	
法 定 福 利 費		1,781,883	
福 利 厚 生 費		170,879	
外 注 労 務 費		488,787	
旅 費 交 通 費		2,201	
通 信 費		149,838	
交 際 費		64,911	
寄 付 金		115,000	
減 価 償 却 費		479,564	
リ ー ス 料		1,094,400	
保 険 料		72,590	
維 持 ・ 修 繕 費		1,893,783	
年) 修繕費 (ゆうひ)		465,100	
水 道 光 熱 費		3,211,151	
燃 料 費		1,819	
備 品 ・ 消 耗 品 費		2,281,012	
租 税 公 課		307	
事 務 用 品 費		28,546	
広 告 宣 伝 費		823,692	
申 請 ・ 支 払 手 数 料		339,937	
諸 会 費		334,366	
新 聞 図 書 費		137	
研 修 費		17,728	
顧 問 料		89,200	
イ ベ ン ト 費		615,340	
雑 費		18,052	
	合 計		35,363,853